所羅門股份有限公司及子公司

合併財務報告暨會計師核閱報告

民國 107 年及 106 年第三季

（股票代碼 2359）

公司地址：台北市內湖區行忠路 42 號

電　　話：(02)8791-8989

所羅門股份有限公司及子公司

民國107年及106年第三季合併財務報告暨會計師核閱報告

目　　錄

項　　目	頁　　次
一、　封面	1
二、　目錄	2 ~ 3
三、　會計師核閱報告	4 ~ 5
四、　合併資產負債表	6 ~ 7
五、　合併綜合損益表	8
六、　合併權益變動表	9
七、　合併現金流量表	10 ~ 11
八、　合併財務報表附註	12 ~ 69
（一）　公司沿革	12
（二）　通過財務報告之日期及程序	12
（三）　新發布及修訂準則及解釋之適用	12 ~ 15
（四）　重大會計政策之彙總說明	16 ~ 29
（五）　重大會計判斷、估計及假設不確定性之主要來源	29
（六）　重要會計項目之說明	30 ~ 50
（七）　關係人交易	50
（八）　質押之資產	51
（九）　重大或有負債及未認列之合約承諾	51

項　　目	頁　　次

(十)　重大之災害損失	51
(十一)重大之期後事項	51
(十二)其他	51 ~ 66
(十三)附註揭露事項	66 ~ 67
1.重大交易事項相關資訊	66 ~ 67
2.轉投資事業相關資訊	67
3.大陸投資資訊	67
(十四)營運部門資訊	68 ~ 69

pwc 資誠

會計師核閱報告

(107)財審報字第 18001990 號

所羅門股份有限公司　公鑒：

前言

所羅門股份有限公司及子公司(以下簡稱「所羅門集團」)民國 107 年及 106 年 9 月 30 日之合併資產負債表，民國 107 年及 106 年 7 月 1 日至 9 月 30 日、民國 107 年及 106 年 1 月 1 日至 9 月 30 日之合併綜合損益表，暨民國 107 年及 106 年 1 月 1 日至 9 月 30 日之合併權益變動表、合併現金流量表，以及合併財務報表附註(包括重大會計政策彙總)，業經本會計師核閱竣事。依「證券發行人財務報告編製準則」及金融監督管理委員會認可之國際會計準則第三十四號「期中財務報導」編製允當表達之合併財務報表係管理階層之責任，本會計師之責任係依據核閱結果對合併財務報表作成結論。

範圍

除保留結論之基礎段所述者外，本會計師係依照審計準則公報第六十五號「財務報表之核閱」執行核閱工作。核閱合併財務報表時所執行之程序包括查詢(主要向負責財務與會計事務之人員查詢)、分析性程序及其他核閱程序。核閱工作之範圍明顯小於查核工作之範圍，因此本會計師可能無法察覺所有可藉由查核工作辨認之重大事項，故無法表示查核意見。

保留結論之基礎

如合併財務報表附註四(三)所述，列入上開合併財務報表之部分非重要子公司及採用權益法之投資之同期間未經會計師核閱，其民國 107 年及 106 年 9 月 30 日之資產總額(含採用權益法之投資)分別為新台幣 821,945 仟元及新台幣 898,593 仟元，分別占合併資產總額之 13.96%及 15.74%；負債總額分別為新台幣 158,616 仟元及新台幣 296,225 仟元，分別占合併負債總額 12.61%及 30.91%；其民國 107 年及 106 年 7 月 1 日至 9 月 30 日、民國 107 年及 106 年 1 月 1 日至 9 月 30 日之綜合損益總額分別為新台幣(18,220)仟元、新台幣 5,583 仟元、新台幣(18,261)仟元及新台幣(37,714)仟元，分別占合併綜合損益總額之 219.62%、8.80%、(11.60)%及(132.76)%。

資誠聯合會計師事務所 PricewaterhouseCoopers, Taiwan
11012 臺北市信義區基隆路一段 333 號 27 樓
27F, No. 333, Sec. 1, Keelung Rd., Xinyi Dist., Taipei 11012, Taiwan
T: +886 (2) 2729 6666, F:+ 886 (2) 2729 6686, www.pwc.tw

pwc 資誠

保留結論

依本會計師核閱結果，除保留結論之基礎段所述部分非重要子公司及採用權益法之投資之財務報表倘經會計師核閱，對合併財務報表可能有所調整之影響外，並未發現上開合併財務報表在所有重大方面有未依照「證券發行人財務報告編製準則」及金融監督管理委員會認可之國際會計準則第三十四號「期中財務報導」編製，致無法允當表達所羅門集團民國 107 年及 106 年 9 月 30 日之合併財務狀況，民國 107 年及 106 年 7 月 1 日至 9 月 30 日、民國 107 年及 106 年 1 月 1 日至 9 月 30 日之合併財務績效，暨民國 107 年及 106 年 1 月 1 日至 9 月 30 日之合併現金流量之情事。

資 誠 聯 合 會 計 師 事 務 所

蕭金木 蕭金木

會計師

陳憲正 陳憲正

前財政部證券管理委員會
核准簽證文號：(81)台財證(六)第 33095 號
金融監督管理委員會
核准簽證文號：金管證審字第 1060025060 號

中 華 民 國 1 0 7 年 1 1 月 1 2 日

所羅門股份有限公司及子公司

合併資產負債表

民國107年9月30日及民國106年12月31日、9月30日

（民國107年及106年9月30日之合併資產負債表僅經核閱，未依一般公認審計準則查核）

單位：新台幣仟元

	資產	附註	107年9月30日 金額	%	106年12月31日 金額	%	106年9月30日 金額	%
	流動資產							
1100	現金及約當現金	六(一)	$ 1,998,803	34	$ 1,650,403	28	$ 1,542,271	27
1110	透過損益按公允價值衡量之金融資產－流動	六(二)及十二(四)	368,318	6	56,502	1	71,109	1
1136	按攤銷後成本衡量之金融資產－流動	六(三)	91,575	2	-	-	-	-
1144	以成本衡量之金融資產－流動	十二(四)	-	-	295,819	5	300,783	5
1150	應收票據淨額	六(四)及八	40,331	1	44,747	1	27,550	-
1170	應收帳款淨額	六(四)、七及十二(四)	944,122	16	1,048,665	18	942,337	17
1200	其他應收款		8,544	-	11,688	-	17,343	-
1220	本期所得稅資產		4,618	-	3,891	-	-	-
130X	存貨	六(五)	594,797	10	339,135	6	279,174	5
1410	預付款項	六(六)	109,088	2	316,111	5	266,343	5
1470	其他流動資產	六(七)、八及十二(四)	5,000	-	360,523	6	451,060	8
11XX	**流動資產合計**		4,165,196	71	4,127,484	70	3,897,970	68
	非流動資產							
1510	透過損益按公允價值衡量之金融資產－非流動	六(二)	76,091	1	-	-	-	-
1523	備供出售金融資產－非流動	十二(四)	-	-	18,734	1	22,210	-
1543	以成本衡量之金融資產－非流動	十二(四)	-	-	67,522	1	78,311	1
1550	採用權益法之投資	六(八)	7,846	-	8,600	-	9,029	-
1600	不動產、廠房及設備	六(九)及八	485,544	8	480,298	8	480,092	9
1760	投資性不動產淨額	六(十)及八	1,000,627	17	1,008,688	17	1,031,306	18
1840	遞延所得稅資產	六(十八)	33,120	1	45,409	1	48,794	1
1900	其他非流動資產	六(十一)及八	117,449	2	123,650	2	142,618	3
15XX	**非流動資產合計**		1,720,677	29	1,752,901	30	1,812,360	32
1XXX	**資產總計**		$ 5,885,873	100	$ 5,880,385	100	$ 5,710,330	100

（續次頁）

所羅門股份有限公司及子公司

合併資產負債表

民國107年9月30日及民國106年12月31日、9月30日

（民國107年及106年9月30日之合併資產負債表僅經核閱，未依一般公認審計準則查核）

單位：新台幣仟元

	負債及權益	附註	107年9月30日 金額	%	106年12月31日 金額	%	106年9月30日 金額	%
	流動負債							
2100	短期借款	六(十二)	$ 491,241	8	$ 146,753	2	$ 39,916	1
2120	透過損益按公允價值衡量之金融負債－流動	十二(四)	-	-	-	-	227	-
2130	合約負債－流動	六(二十三)及十二(五)	212,239	4	-	-	-	-
2150	應付票據		962	-	3,017	-	5,364	-
2170	應付帳款		302,568	5	519,221	9	527,312	9
2200	其他應付款	六(十三)	149,872	3	168,527	3	155,128	3
2230	本期所得稅負債		625	-	31,302	1	27,175	1
2250	負債準備－流動	六(十四)	2,166	-	3,437	-	3,135	-
2300	其他流動負債	六(十五)	78,571	1	272,578	5	181,524	3
21XX	**流動負債合計**		1,238,244	21	1,144,835	20	939,781	17
	非流動負債							
2570	遞延所得稅負債	六(十八)	10,570	-	8,812	-	9,114	-
2600	其他非流動負債	六(十六)	8,894	-	9,924	-	9,553	-
25XX	**非流動負債合計**		19,464	-	18,736	-	18,667	-
2XXX	**負債總計**		1,257,708	21	1,163,571	20	958,448	17
	股本	六(十九)						
3110	普通股股本		1,714,711	29	1,714,711	29	1,714,711	30
	資本公積	六(二十)						
3200	資本公積		178,042	3	123,918	3	123,617	2
	保留盈餘	六(二十一)						
3310	法定盈餘公積		334,597	6	328,704	6	328,704	6
3320	特別盈餘公積		86,953	1	25,542	-	25,542	-
3350	未分配盈餘		2,113,906	36	2,184,620	37	2,209,212	39
	其他權益	六(二十二)						
3400	其他權益		(112,070)	(2)	(86,953)	(2)	(79,831)	(2)
3500	庫藏股票	六(十九)	(6,042)	-	(6,042)	-	(6,042)	-
31XX	**歸屬於母公司業主之權益合計**		4,310,097	73	4,284,500	73	4,315,913	75
36XX	**非控制權益**		318,068	6	432,314	7	435,969	8
3XXX	**權益總計**		4,628,165	79	4,716,814	80	4,751,882	83
	重大或有事項及未認列之合約承諾	九						
3X2X	**負債及權益總計**		$ 5,885,873	100	$ 5,880,385	100	$ 5,710,330	100

後附合併財務報表附註為本合併財務報告之一部分，請併同參閱。

董事長：陳政隆　　經理人：陳政隆　　會計主管：傅亦中

所羅門股份有限公司及子公司

合併綜合損益表

民國107年及106年1月1日至9月30日

(僅經核閱，未依一般公認審計準則查核)

單位：新台幣仟元

(除每股盈餘為新台幣元外)

	項目	附註	107年7月1日至9月30日 金額	%	106年7月1日至9月30日 金額	%	107年1月1日至9月30日 金額	%	106年1月1日至9月30日 金額	%
4000	**營業收入**	六(二十三)、七及十二(五)	$ 956,988	100	$ 968,189	100	$ 3,063,021	100	$ 3,012,452	100
5000	**營業成本**	六(五)(二十七)(二十八)	(763,435)	(79)	(758,983)	(78)	(2,470,906)	(81)	(2,399,495)	(80)
5950	**營業毛利淨額**		193,553	21	209,206	22	592,115	19	612,957	20
	營業費用	六(二十七)(二十八)								
6100	推銷費用		(72,878)	(7)	(59,591)	(6)	(196,596)	(6)	(162,335)	(5)
6200	管理費用		(64,385)	(7)	(64,723)	(7)	(205,425)	(7)	(194,819)	(6)
6300	研究發展費用		(25,468)	(3)	(28,232)	(3)	(73,439)	(2)	(77,069)	(3)
6450	預期信用減損利益(損失)	六(四)及十二(二)	2,088	-	-	-	(141)	-	-	-
6000	**營業費用合計**		(160,643)	(17)	(152,546)	(16)	(475,601)	(15)	(434,223)	(14)
6900	**營業利益**		32,910	4	56,660	6	116,514	4	178,734	6
	營業外收入及支出									
7010	其他收入	六(二十四)及七	28,844	3	26,657	3	80,126	2	65,578	2
7020	其他利益及損失	六(二十五)	(25,304)	(3)	(24,861)	(3)	24,557	1	(112,095)	(4)
7050	財務成本	六(二十六)	(938)	-	(81)	-	(3,457)	-	(337)	-
7060	採用權益法認列之關聯企業及合資損益之份額	六(八)	(242)	-	(691)	-	(754)	-	(681)	-
7000	**營業外收入及支出合計**		2,360	-	1,024	-	100,472	3	(47,535)	(2)
7900	**稅前淨利**		35,270	4	57,684	6	216,986	7	131,199	4
7950	所得稅費用	六(十八)	(7,317)	(1)	(9,775)	(1)	(27,389)	(1)	(43,371)	(1)
8200	**本期淨利**		$ 27,953	3	$ 47,909	5	$ 189,597	6	$ 87,828	3
	其他綜合損益									
8349	與不重分類之項目相關之所得稅	六(十八)	$ -	-	$ -	-	($ 2,399)	-	$ -	-
8310	**不重分類至損益之項目總額**		-	-	-	-	(2,399)	-	-	-
	後續可能重分類至損益之項目									
8361	國外營運機構財務報表換算之兌換差額		(36,249)	(4)	15,023	2	(29,739)	(1)	(52,479)	(2)
8362	備供出售金融資產未實現評價損益		-	-	501	-	-	-	(6,941)	-
8360	**後續可能重分類至損益之項目合計**		(36,249)	(4)	15,524	2	(29,739)	(1)	(59,420)	(2)
8300	**其他綜合損益(淨額)**		($ 36,249)	(4)	$ 15,524	2	($ 32,138)	(1)	($ 59,420)	(2)
8500	**本期綜合利益(損失)總額**		($ 8,296)	(1)	$ 63,433	7	$ 157,459	5	$ 28,408	1
	淨利歸屬於：									
8610	母公司業主		$ 19,778	2	$ 41,884	4	$ 162,244	5	$ 80,506	3
8620	非控制權益		$ 8,175	1	$ 6,025	1	$ 27,353	1	$ 7,322	-
	綜合損益總額歸屬於：									
8710	母公司業主		($ 12,613)	(1)	$ 52,562	5	$ 142,944	5	$ 26,217	1
8720	非控制權益		$ 4,317	-	$ 10,871	1	$ 14,515	-	$ 2,191	-
	基本每股盈餘	六(二十九)								
9750	**本期淨利**		$ 0.12		$ 0.24		$ 0.95		$ 0.47	
	稀釋每股盈餘	六(二十九)								
9850	**本期淨利**		$ 0.12		$ 0.24		$ 0.95		$ 0.47	

後附合併財務報表附註為本合併財務報告之一部分，請併同參閱。

董事長：陳政隆　　經理人：陳政隆　　會計主管：傅亦中

所羅門股份有限公司及子公司

合併權益變動表

民國 107 年及 106 年 1 月 1 日至 9 月 30 日

（僅經核閱，未依一般公認審計準則查核）

單位：新台幣仟元

	附註	歸屬於母公司業主之權益										
		普通股股本	資本公積	保留盈餘 法定盈餘公積	保留盈餘 特別盈餘公積	保留盈餘 未分配盈餘	其他權益 國外營運機構財務報表換算之兌換差額	其他權益 備供出售金融資產未實現損益	庫藏股票	總計	非控制權益	權益總額
106 年度												
106 年 1 月 1 日餘額		$ 1,714,711	$ 122,994	$ 312,490	$ -	$ 2,341,933	($ 44,175)	$ 18,633	($ 6,042)	$ 4,460,544	$ 434,669	$ 4,895,213
本期淨利		-	-	-	-	80,506	-	-	-	80,506	7,322	87,828
本期其他綜合損益		-	-	-	-	-	(47,348)	(6,941)	-	(54,289)	(5,131)	(59,420)
本期綜合損益總額		-	-	-	-	80,506	(47,348)	(6,941)	-	26,217	2,191	28,408
盈餘指撥及分派：	六(二十一)											
法定盈餘公積		-	-	16,214	-	(16,214)	-	-	-	-	-	-
特別盈餘公積		-	-	-	25,542	(25,542)	-	-	-	-	-	-
現金股利		-	-	-	-	(171,471)	-	-	-	(171,471)	-	(171,471)
取得非控制權益價格與帳面價值差額	六(二十)	-	623	-	-	-	-	-	-	623	(891)	(268)
106 年 9 月 30 日餘額		$ 1,714,711	$ 123,617	$ 328,704	$ 25,542	$ 2,209,212	($ 91,523)	$ 11,692	($ 6,042)	$ 4,315,913	$ 435,969	$ 4,751,882
107 年度												
107 年 1 月 1 日餘額		$ 1,714,711	$ 123,918	$ 328,704	$ 25,542	$ 2,184,620	($ 95,169)	$ 8,216	($ 6,042)	$ 4,284,500	$ 432,314	$ 4,716,814
追溯適用之影響數	三(一)	-	-	-	-	8,216	-	(8,216)	-	-	-	-
1 月 1 日追溯適用後餘額		1,714,711	123,918	328,704	25,542	2,192,836	(95,169)	-	(6,042)	4,284,500	432,314	4,716,814
本期淨利		-	-	-	-	162,244	-	-	-	162,244	27,353	189,597
本期其他綜合損益	六(二十二)	-	-	-	-	(2,399)	(16,901)	-	-	(19,300)	(12,838)	(32,138)
本期綜合損益總額		-	-	-	-	159,845	(16,901)	-	-	142,944	14,515	157,459
盈餘指撥及分派：	六(二十一)											
法定盈餘公積		-	-	5,893	-	(5,893)	-	-	-	-	-	-
特別盈餘公積		-	-	-	61,411	(61,411)	-	-	-	-	-	-
現金股利		-	-	-	-	(171,471)	-	-	-	(171,471)	-	(171,471)
取得及處分非控制權益價格與帳面價值差額	六(二十)	-	54,124	-	-	-	-	-	-	54,124	(128,761)	(74,637)
107 年 9 月 30 日餘額		$ 1,714,711	$ 178,042	$ 334,597	$ 86,953	$ 2,113,906	($ 112,070)	$ -	($ 6,042)	$ 4,310,097	$ 318,068	$ 4,628,165

後附合併財務報表附註為本合併財務報告之一部分，請併同參閱。

董事長：陳政隆　　經理人：陳政隆　　會計主管：傅亦中

所羅門股份有限公司及子公司

合併現金流量表

民國107年及106年1月1日至9月30日

(僅經核閱，未依一般公認審計準則查核)

單位：新台幣仟元

	附註	107年1月1日至9月30日	106年1月1日至9月30日
營業活動之現金流量			
本期稅前淨利		$ 216,986	$ 131,199
調整項目			
不影響現金流量之收益費損項目			
折舊費用(含投資性不動產)	六(九)(十)	23,174	22,301
攤銷費用	六(二十七)	3,188	3,515
備抵壞帳提列數	十二(四)	-	489
預期信用減損損失	六(四)及十二(二)	141	-
透過損益按公允價值衡量之金融資產之淨損失	六(二)(二十五)	7,448	1,063
利息費用	六(二十六)	3,457	337
利息收入	六(二十四)	(23,081)	(13,060)
採用權益法認列之關聯企業損失之份額	六(八)	754	681
以成本衡量之金融資產減損損失	十二(四)	-	306
處分及報廢不動產、廠房及設備損失	六(二十五)	-	129
與營業活動相關之資產/負債變動數			
與營業活動相關之資產之淨變動			
強制透過損益按公允價值衡量之金融資產		(1,431)	17,136
應收票據淨額		4,416	35,868
應收帳款		104,402	43,138
其他應收款		(806)	6,379
存貨		(255,662)	66,592
預付款項		207,023	(89,909)
其他非流動資產		(1,741)	(813)
與營業活動相關之負債之淨變動			
透過損益按公允價值衡量之金融負債-流動		-	(227)
合約負債		16,762	-
應付票據		(2,055)	(359)
應付帳款		(216,653)	66,601
其他應付款		(18,655)	(60,353)
其他流動負債		(76)	(12,124)
負債準備-流動	六(十四)	(1,271)	(1,552)
應計退休金負債		(79)	(47)
營運產生之現金流入		66,241	217,290
收取之利息		26,304	6,681
支付之利息		(3,457)	(337)
支付之所得稅		(48,531)	(100,786)
營業活動之淨現金流入		40,557	122,848

(續次頁)

所羅門股份有限公司及子公司

合併現金流量表

民國107年及106年1月1日至9月30日

(僅經核閱，未依一般公認審計準則查核)

單位：新台幣仟元

	附註	107年1月1日至9月30日	106年1月1日至9月30日
投資活動之現金流量			
按攤銷後成本衡量之金融資產減少		$ 263,948	$ -
其他流動資產增加		-	(117,736)
取得不動產、廠房及設備價款	六(九)	(16,897)	(2,843)
其他非流動資產減少(增加)		4,754	(26,959)
投資活動之淨現金流入(流出)		251,805	(147,538)
籌資活動之現金流量			
短期借款增加(減少)	六(三十二)	344,488	(24,910)
其他非流動負債(減少)增加	六(三十二)	(951)	1,185
發放現金股利	六(二十三)	(171,471)	(171,471)
取得子公司股權		(74,468)	-
籌資活動之淨現金流入(流出)		97,598	(195,196)
匯率影響數		(41,560)	(42,146)
本期現金及約當現金增加(減少)數		348,400	(262,032)
期初現金及約當現金餘額		1,650,403	1,804,303
期末現金及約當現金餘額		$ 1,998,803	$ 1,542,271

後附合併財務報表附註為本合併財務報告之一部分，請併同參閱。

董事長：陳政隆　　經理人：陳政隆　　會計主管：傅亦中

所羅門股份有限公司及子公司

合併財務報表附註

民國107年及106年第三季

（僅經核閱，未依一般公認審計準則查核）

單位：新台幣仟元

（除特別註明者外）

一、公司沿革

（一）所羅門股份有限公司（以下簡稱「本公司」）於中華民國設立並開始營業於民國79年5月，並分別於民國96年及95年間與100%持有之子公司摩道投資股份有限公司、隆門科技股份有限公司及得利投資股份有限公司合併，合併後本公司為存續公司，摩道投資股份有限公司、隆門科技股份有限公司及得利投資股份有限公司為消滅公司。本公司及子公司（以下統稱「本集團」）主要營業項目為發電機、半導體、電子零件及液晶顯示器等之買賣、製造及代理進口業務。

（二）本公司股票於民國85年12月在台灣證券交易所股份有限公司買賣。

二、通過財務報告之日期及程序

本合併財務報告已於民國107年11月12日提報董事會後發布。

三、新發布及修訂準則及解釋之適用

（一）已採用金融監督管理委員會（以下簡稱「金管會」）認可之新發布、修正後國際財務報導準則之影響

下表彙列金管會認可之民國107年適用之國際財務報導準則之新發布、修正及修訂之準則及解釋：

新發布/修正/修訂準則及解釋	國際會計準則理事會發布之生效日
國際財務報導準則第2號之修正「股份基礎給付交易之分類及衡量」	民國107年1月1日
國際財務報導準則第4號之修正「於國際財務報導準則第4號『保險合約』下國際財務報導準第9號『金融工具』之適用」	民國107年1月1日
國際財務報導準則第9號「金融工具」	民國107年1月1日
國際財務報導準則第15號「客戶合約之收入」	民國107年1月1日
國際財務報導準則第15號之修正「國際財務報導準則第15號『客戶合約之收入』之闡釋」	民國107年1月1日
國際會計準則第7號之修正「揭露倡議」	民國106年1月1日

新發布/修正/修訂準則及解釋	國際會計準則理事會發布之生效日
國際會計準則第12號之修正「未實現損失之遞延所得稅資產之認列」	民國106年1月1日
國際會計準則第40號之修正「投資性不動產之轉列」	民國107年1月1日
國際財務報導解釋第22號「外幣交易與預收(付)對價」	民國107年1月1日
2014-2016週期之年度改善-國際財務報導準則第1號「首次採用國際財務報導準則」	民國107年1月1日
2014-2016週期之年度改善-國際財務報導準則第12號「對其他個體之權益之揭露」	民國106年1月1日
2014-2016週期之年度改善-國際會計準則第28號「投資關聯企業及合資」	民國107年1月1日

除下列所述者外，本集團經評估上述準則及解釋對本集團財務狀況與財務績效並無重大影響：

1.國際財務報導準則第9號「金融工具」

(1)金融資產債務工具按企業之經營模式及合約現金流量特性判斷，可分類為透過損益按公允價值衡量之金融資產、透過其他綜合損益按公允價值衡量之金融資產及按攤銷後成本衡量之金融資產；金融資產權益工具分類為透過損益按公允價值衡量之金融資產，除非企業作不可撤銷之選擇將非交易目的之權益工具的公允價值認列於其他綜合損益。

(2)金融資產債務工具之減損評估應採預期信用損失模式，於每一資產負債表日評估該工具之信用風險是否有顯著增加，以適用 12 個月之預期信用損失或存續期間之預期信用損失(於發生減損前之利息收入按資產帳面總額估計)；或是否業已發生減損，於發生減損後之利息收入按提列備抵呆帳後之帳面淨額估計。應收帳款(不包含重大財務組成部分)應按存續期間之預期信用損失衡量備抵損失。

(3)本集團對於國際財務報導準則第9號(以下簡稱「IFRS 9」)係採用不重編前期財務報表(以下簡稱「修正式追溯」)，對民國107年1月1日之重大影響，請詳附註十二、(四)2.及3.說明。

2.國際財務報導準則第15號「客戶合約之收入」及相關修正

(1)國際財務報導準則第15號「客戶合約之收入」取代國際會計準則第11號「建造合約」、國際會計準則第18號「收入」以及其相關解釋及解釋公告。按準則規定收入應於客戶取得對商品或勞務之控制時認列，當客戶已具有主導資產之使用並取得該資產之幾乎所有剩餘效益之能力時表示客戶取得對商品或勞務之控制。

此準則之核心原則為「企業認列收入以描述對客戶所承諾之商品或勞

務之移轉，該收入之金額反映該等商品或勞務換得之預期有權取得之對價」。企業按核心原則認列收入時需運用下列五步驟來決定收入認列的時點及金額：

步驟 1：辨認客戶合約。

步驟 2：辨認合約中之履約義務。

步驟 3：決定交易價格。

步驟 4：將交易價格分攤至合約中之履約義務。

步驟 5：於（或隨）企業滿足履約義務時認列收入。

此外，準則亦包括一套整合性之揭露規定，該等規定將使企業對財務報表使用者提供有關客戶合約所產生之收入與現金流量之性質、金額、時間及不確定性之綜合資訊。

(2)本集團於初次適用國際財務報導準則第 15 號(以下簡稱「IFRS 15」)時，選擇不重編前期財務報表，將初次適用之累積影響數認列於民國 107 年 1 月 1 日之保留盈餘(以下簡稱「修正式追溯」)，關於採修正式追溯過渡作法對民國 107 年 1 月 1 日之重大影響彙總如下：

A.客戶合約相關資產及負債之表達

因適用 IFRS 15 之相關規定，本集團修改部分會計項目於資產負債表之表達如下:

依據 IFRS 15 之規定，認列與合約相關之合約負債，在過去報導期間於資產負債表上表達為預收貨款，於民國 107 年 1 月 1 日餘額為 $195,477。

B.有關初次適用 IFRS 15 之其他揭露請詳附註十二、(五)說明。

3.國際會計準則第 7 號之修正「揭露倡議」

此修正要求企業增加揭露有關(來自)籌資活動之負債變動,包括來自現金及非現金之變動。

經評估該修正將使本集團增加有關(來自)籌資活動之負債變動之揭露。

(二)尚未採用金管會認可之新發布、修正後國際財務報導準則之影響

下表彙列金管會認可之民國 108 年適用之國際財務報導準則之新發布、修正及修訂之準則及解釋：

新發布/修正/修訂準則及解釋	國際會計準則理事會發布之生效日
國際財務報導準則第9號之修正「具負補償之提前還款特性」	民國108年1月1日
國際財務報導準則第16號「租賃」	民國108年1月1日
國際會計準則第19號之修正「計畫之修正、縮減或清償」	民國108年1月1日
國際財務報導解釋第28號之修正「關聯企業與合資之長期權益」	民國108年1月1日
國際財務報導解釋第23號「不確定性之所得稅處理」	民國108年1月1日
2015-2017週期之年度改善	民國108年1月1日

除下列所述者外，本集團經評估上述準則及解釋對本集團財務狀況與財務績效並無重大影響，相關影響金額待評估完成時予以揭露：

國際財務報導準則第 16 號「租賃」

國際財務報導準則第 16 號「租賃」取代國際會計準則第 17 號「租賃」及其相關解釋及解釋公告。此準則規定承租人應認列使用權資產及租賃負債(除租賃期間短於 12 個月或低價值標的資產之租賃外)；出租人會計處理仍相同，按營業租賃及融資租賃兩種類型處理，僅增加相關揭露。

本集團將屬承租人之租賃合約按國際財務報導準則第 16 號處理，惟採用不重編前期財務報表(以下簡稱「修正式追溯」)，其影響將調整於民國 108 年 1 月 1 日。

(三)國際會計準則理事會已發布但尚未經金管會認可之國際財務報導準則之影響

下表彙列國際會計準則理事會已發布但尚未納入金管會認可之國際財務報導準則之新發布、修正及修訂之準則及解釋：

新發布/修正/修訂準則及解釋	國際會計準則理事會發布之生效日
國際會計準則第1號及國際會計準則第8號之修正「揭露倡議-重大性之定義」	民國109年1月1日
國際財務報導準則第3號之修正「業務之定義」	民國109年1月1日
國際財務報導準則第10號及國際會計準則第28號之修正「投資者與其關聯企業或合資間之資產出售或投入」	待國際會計準則理事會決定
國際財務報導準則第17號「保險合約」	民國110年1月1日

本集團經評估上述準則及解釋對集團財務狀況與財務績效並無重大影響。

四、重大會計政策之彙總說明

編製本合併財務報告所採用之主要會計政策說明如下。除另有說明外，此等政策在所有報導期間一致地適用。

(一)遵循聲明

本合併財務報告係依據證券發行人財務報告編製準則與金管會認可之國際會計準則第 34 號「期中財務報導」編製。

(二)編製基礎

1.除下列重要項目外，本合併財務報告係按歷史成本編製：

(1)按公允價值衡量之透過損益按公允價值衡量之金融資產及負債(包括衍生工具)。

(2)按公允價值衡量之備供出售金融資產。

(3)按退休基金資產減除確定福利義務現值之淨額認列之確定福利負債。

2.編製符合金管會認可之國際財務報導準則、國際會計準則、解釋及解釋公告(以下簡稱 IFRSs)之財務報告需要使用一些重要會計估計，在應用本集團的會計政策過程中亦需要管理階層運用其判斷，涉及高度判斷或複雜性之項目，或涉及合併財務報告之重大假設及估計之項目，請詳附註五說明。

3.本集團於民國 107 年 1 月 1 日初次適用 IFRS 9 及 IFRS 15，係採用修正式追溯將轉換差額認列於民國 107 年 1 月 1 日之保留盈餘或其他權益，並未重編民國 106 年度及其第三季之財務報表及附註。民國 106 年度及其第三季係依據國際會計準則第 39 號(以下簡稱「IAS 39」)、國際會計準則第 18 號(以下簡稱「IAS 18」)及其相關解釋及解釋公告編製，所採用之重大會計政策及重要會計項目之說明，請詳附註十二、(四)及(五)說明。

(三)合併基礎

1.合併財務報告編製原則

(1)本集團將所有子公司納入合併財務報告編製之個體。子公司指受本集團控制之個體(包括結構型個體)，當本集團暴露於來自對該個體之參與之變動報酬或對該等變動報酬享有權利，且透過對該個體之權力有能力影響該等報酬時，本集團即控制該個體。子公司自本集團取得控制之日起納入合併財務報告，於喪失控制之日起終止合併。

(2)集團內公司間之交易、餘額及未實現損益業已銷除。子公司之會計政策已作必要之調整，與本集團採用之政策一致。

(3)損益及其他綜合損益各組成部分歸屬於母公司業主及非控制權益；綜合損益總額亦歸屬於母公司業主及非控制權益，即使因而導致非控制權益發生虧損餘額。

(4)對子公司持股之變動若未導致喪失控制(與非控制權益之交易)，係作為權益交易處理，亦即視為與業主間進行之交易。非控制權益之調整金額與所支付或收取對價之公允價值間之差額係直接認列於權益。

(5)當集團喪失對子公司之控制，對前子公司之剩餘投資係按公允價值重新衡量，並作為原始認列金融資產之公允價值或原始認列投資關聯企業或合資之成本，公允價值與帳面金額之差額認列為當期損益。對於先前認列於其他綜合損益與該子公司有關之所有金額，其會計處理與本集團若直接處分相關資產或負債之基礎相同，亦即如先前認列為其他綜合損益之利益或損失，於處分相關資產或負債時將被重分類為損益，則當喪失對子公司之控制時，將該利益或損失自權益重分類為損益。

2.列入合併財務報告之子公司：

			所持股權百分比			
投資公司名稱	子公司名稱	業務性質	107年9月30日	106年12月31日	106年9月30日	說明
本公司	摩迪投資股份有限公司(摩迪投資)	專業投資	100.00	100.00	100.00	
本公司	富相科技股份有限公司(富相科技)	液晶顯示器製造及銷售	70.77	62.68	62.65	註2
本公司	Solomon Cayman International Corporation (Solomon Cayman)	控股公司	100.00	100.00	100.00	
本公司	三門科技股份有限公司(三門科技)	IC Card製造及銷售	100.00	100.00	100.00	
本公司	興門科技股份有限公司(興門科技)	通訊產品製造及銷售	96.41	96.41	96.41	
本公司	Total Profit Holdings Ltd. (Total Profit)	控股公司	100.00	100.00	100.00	
本公司	達威光電股份有限公司(達威光電)	液晶面板製造及銷售	29.16	29.16	29.61	註2
本公司	吉帝能源設備股份有限公司(吉帝能源)	發電機安裝及銷售	100.00	100.00	100.00	
本公司	業生科技股份有限公司(業生科技)	電子零組件製造	100.00	-	-	註3
本公司	Solomon Science Technology(VN) Company Limited(Solomon Science)	電力能源相關產品進出口	100.00	-	-	註5
本公司	Solomon Robotics(THAI) Ltd.(Solomon Robotics)	電力能源相關產品進出口	100.00	-	-	註5
摩迪投資	碳雨材料股份有限公司(碳雨材料)	機器設備及電子組件製造	-	86.96	86.96	註6

投資公司名稱	子公司名稱	業務性質	所持股權百分比			說明
			107年9月30日	106年12月31日	106年9月30日	
摩迪投資	達威光電股份有限公司(達威光電)	液晶面板製造及銷售	15.27	15.34	15.34	註2
摩迪投資	富相科技股份有限公司(富相科技)	液晶顯示器製造及銷售	9.26	9.26	9.26	註2
摩迪投資	Green Forest Co., Ltd. (Green Forest)	投資公司	26.86	26.86	26.86	註2
Solomon Cayman	鈺門國際貿易(上海)有限公司(鈺門國際)	國際貿易	100.00	100.00	100.00	
Solomon Cayman	Goldentek Display System (B.V.I.) Co.,Ltd.(Goldentek (B.V.I.))	銷售液晶顯示器及模組	0.44	0.44	0.44	註2
Solomon Cayman	GD Power Ltd. (GD Power)	控股公司	100.00	100.00	100.00	
Solomon Cayman	Solomon (Brunei) Ltd. (Solomon (Brunei))	控股公司	-	100.00	100.00	註4
Solomon Cayman	Bright True Co. Ltd. (Bright True)	投資公司	55.99	55.99	55.99	註2
GD Power	吉帝能源設備(成都)有限公司(吉帝能源設備(成都))	發電機安裝及銷售	100.00	100.00	100.00	
Solomon (Brunei)	Solomon Vietnam Company Limitd (所羅門(越南))	發電機安裝及銷售	-	80.00	80.00	註4
三門科技	達威光電股份有限公司(達威光電)	液晶面板製造及銷售	21.11	21.11	21.11	註2
三門科技	富相科技股份有限公司(富相科技)	液晶顯示器製造及銷售	9.26	9.26	9.26	註2
三門科技	Green Forest Co., Ltd. (Green Forest)	投資公司	40.69	40.69	40.69	註2
Green Forest	Shining Silver Co.,Ltd.(Shining Silver)	投資公司	100.00	100.00	100.00	註2
Total Profit	所羅門貿易(深圳)有限公司(所羅門深圳)	國際貿易	100.00	100.00	100.00	
富相科技	Goldentek Display System (B.V.I.) Co.,Ltd.(Goldentek (B.V.I.))	銷售液晶顯示器及模組	99.56	99.56	99.56	註2
富相科技	Futek Trading Co., Ltd.(Futek Trading)	轉口貿易	100.00	100.00	100.00	
富相科技	Green Forest Co., Ltd. (Green Forest)	投資公司	32.45	32.45	32.45	註2

投資公司名稱	子公司名稱	業務性質	所持股權百分比			說明
			107年9月30日	106年12月31日	106年9月30日	
Futek Trading	富相科技(香港)有限公司(香港富相)	轉口貿易	100.00	100.00	100.00	
Goldentek (B.V.I.)	富相電子科技(東莞)有限公司(東莞富相)	生產銷售液晶顯示器及模組	100.00	100.00	100.00	
東莞富相	富頂國際有限公司(富頂國際)	生產銷售液晶顯示器及模組及轉投資業務	100.00	100.00	100.00	
富頂國際	Bright True Co., Ltd. (Bright True)	投資公司	44.01	44.01	44.01	註2
Bright True	Sincere Reach Co., Ltd.(Sincere Reach)	投資公司	100.00	100.00	100.00	

註 1：係依除富相科技、Goldentek(B.V.I)、東莞富相、Futek Trading、香港富相及達威光電同期經會計師核閱之財務報告編入本合併財務報告外，其餘因不符合重要子公司之定義，其民國 107 年及 106 年 9 月 30 日之財務報告未經會計師核閱。

註 2：本公司直接及間接綜合持有該公司超過半數之表決權。

註 3：係於民國 107 年 6 月新投資設立。

註 4：係於民國 107 年 6 月清算完結。

註 5：係於民國 107 年 9 月新投資設立。

註 6：係於民國 107 年 3 月清算完結。

3. 未列入合併財務報告之子公司：無。

4. 子公司會計期間不同之調整及處理方式：無。

5. 重大限制：無。

6. 對本集團具重大性之非控制權益之子公司：

本集團民國 107 年 9 月 30 日、106 年 12 月 31 日及 106 年 9 月 30 日非控制權益總額分別為$318,068、$432,314 及$435,969，下列為對本集團具重大性之非控制權益及所屬子公司之資訊：

子公司名稱	主要營業場所	非控制權益			
		107年9月30日		106年12月31日	
		金額	持股百分比	金額	持股百分比
富相科技	台灣	$ 224,354	10.71%	$ 343,486	18.80%

子公司名稱	主要營業場所	非控制權益 106年9月30日 金額	持股百分比
富相科技	台灣	$ 340,338	18.83%

子公司彙總性財務資訊：

資產負債表

	富相科技		
	107年9月30日	106年12月31日	106年9月30日
流動資產	$ 2,065,172	$ 2,039,413	$ 2,006,957
非流動資產	77,480	95,219	95,573
流動負債	(338,695)	(397,580)	(365,775)
非流動負債	-	(684)	(629)
淨資產總額	$ 1,803,957	$ 1,736,368	$ 1,736,126

綜合損益表

	富相科技	
	107年7月1日至9月30日	106年7月1日至9月30日
收入	$ 303,892	$ 329,445
稅前淨利	56,620	36,739
所得稅費用	(6,294)	(5,872)
繼續營業單位本期淨利	50,326	30,867
其他綜合損益(稅後淨額)	(2,088)	17,188
本期綜合損益總額	$ 48,238	$ 48,055
綜合損益總額歸屬於非控制權益	$ 804	$ 7,766

	富相科技	
	107年1月1日至9月30日	106年1月1日至9月30日
收入	$ 936,482	$ 941,672
稅前淨利	162,965	76,133
所得稅費用	(23,923)	(26,644)
繼續營業單位本期淨利	139,042	49,489
其他綜合損益(稅後淨額)	12,166	(29,585)
本期綜合損益總額	$ 151,208	$ 19,904
綜合損益總額歸屬於非控制權益	$ 8,665	($ 3,117)

現金流量表

	富相科技	
	107年1月1日至9月30日	106年1月1日至9月30日
營業活動之淨現金流入	$ 114,072	$ 30,536
投資活動之淨現金流入(流出)	82,824	(116,633)
匯率變動對現金及約當現金之影響	43,621	(59,699)
本期現金及約當現金增加(減少)數	240,517	(145,796)
期初現金及約當現金餘額	1,105,393	1,263,212
期末現金及約當現金餘額	$ 1,345,910	$ 1,117,416

(四)外幣換算

本集團內每一個體之財務報告所列之項目，均係以該個體營運所處主要經濟環境之貨幣(即功能性貨幣)衡量。本合併財務報告係以本公司之功能性貨幣「新台幣」作為表達貨幣列報。

1.外幣交易及餘額

(1)外幣交易採用交易日或衡量日之即期匯率換算為功能性貨幣，換算此等交易產生之換算差額認列為當期損益。

(2)外幣貨幣性資產及負債餘額，按資產負債表日之即期匯率評價調整，因調整而產生之換算差額認列為當期損益。

(3)外幣非貨幣性資產及負債餘額，屬透過損益按公允價值衡量者，按資產負債表日之即期匯率評價調整，因調整而產生之兌換差額認列為當期損益；屬透過其他綜合損益按公允價值衡量者，按資產負債表日之即期匯率評價調整，因調整而產生之兌換差額認列於其他綜合損益項目；屬非按公允價值衡量者，則按初始交易日之歷史匯率衡量。

(4)所有兌換損益按交易性質在損益表之「其他利益及損失」列報。

2.國外營運機構之換算

(1)功能性貨幣與表達貨幣不同之所有集團個體及關聯企業，其經營結果和財務狀況以下列方式換算為表達貨幣：

A.表達於每一資產負債表之資產及負債係以該資產負債表日之收盤匯率換算；

B.表達於每一綜合損益表之收益及費損係以當期平均匯率換算；及

C.所有因換算而產生之兌換差額認列為其他綜合損益。

(2)當部分處分或出售之國外營運機構為關聯企業時，將於其他綜合損益項下之兌換差額按比例重分類於當期損益作為出售利益或損失之一部分。惟當本集團即使仍保留對前關聯企業之部分權益，但已喪失對國外營運機構屬關聯企業之重大影響，則係以處分對國外營運機構之全部權益處理。

(3)當部分處分國外營運機構為子公司時，係按比例將認列為其他綜合損益之累計兌換差額重新歸屬予該國外營運機構之非控制權益。惟當本集團即使仍保留對前子公司之部分權益，但已喪失對國外營運機構屬子公司之控制，則係以處分對國外營運機構之全部權益處理。

(五)資產負債區分流動及非流動之分類標準

1.資產符合下列條件之一者，分類為流動資產：

(1)預期將於正常營業週期中實現該資產，或意圖將其出售或消耗者。

(2)主要為交易目的而持有者。

(3)預期於資產負債表日後十二個月內實現者。

(4)現金或約當現金，但於資產負債表日後至少十二個月交換或用以清償負債受到限制者除外。

本集團將所有不符合上述條件之資產分類為非流動。

2.負債符合下列條件之一者，分類為流動負債：

(1)預期將於正常營業週期中清償者。

(2)主要為交易目的而持有者。

(3)預期於資產負債表日後十二個月內到期清償者。

(4)不能無條件將清償期限遞延至資產負債表日後至少十二個月者。負債之條款，可能依交易對方之選擇，以發行權益工具而導致清償者，不影響其分類。

本集團將所有不符合上述條件之負債分類為非流動。

(六)約當現金

約當現金係指短期且具高度流動性之投資，該投資隨時可轉換成定額現金且價值變動之風險甚小。定期存款符合前述定義且其持有目的係為滿足營運上之短期現金承諾者，分類為約當現金。

(七)透過損益按公允價值衡量之金融資產

1.係指非屬按攤銷後成本衡量或透過其他綜合損益按公允價值衡量之金融資產。

2. 本集團對於符合交易慣例之透過損益按公允價值衡量之金融資產係採用交割日會計。

3. 本集團於原始認列時按公允價值衡量，相關交易成本認列於損益，後續按公允價值衡量，其利益或損失認列於損益。

4. 當收取股利之權利確立，與股利有關之經濟效益很有可能流入，及股利金額能可靠衡量時，本集團於損益認列股利收入。

(八)按攤銷後成本衡量之金融資產

1. 係指同時符合下列條件者：

(1)在以收取合約現金流量為目的之經營模式下持有該金融資產。

(2)該金融資產之合約條款產生特定日期之現金流量，完全為支付本金及流通在外本金金額之利息。

2. 本集團對於符合交易慣例之按攤銷後成本衡量之金融資產係採用交易日會計。

3. 本集團於原始認列時按其公允價值加計交易成本衡量，後續採有效利息法按攤銷程序於流通期間內認列利息收入，及認列減損損失，並於除列時，將其利益或損失認列於損益。

4. 本集團持有不符合約當現金之定期存款，因持有期間短，折現之影響不重大，係以投資金額衡量。

(九)應收帳款及票據

1. 係指依合約約定，已具無條件收取因移轉商品或勞務所換得對價金額權利之帳款及票據。

2. 屬未付息之短期應收帳款及票據，因折現之影響不大，本集團係以原始發票金額衡量。

(十)金融資產減損

本集團於每一資產負債表日，就按攤銷後成本衡量之金融資產，考量所有合理且可佐證之資訊(包括前瞻性者)後，對自原始認列後信用風險並未顯著增加者，按 12 個月預期信用損失金額衡量備抵損失；對自原始認列後信用風險已顯著增加者，按存續期間預期信用損失金額衡量備抵損失；就不包含重大財務組成部分之應收帳款或合約資產，按存續期間預期信用損失金額衡量備抵損失。

(十一)金融資產之除列

本集團於符合下列情況之一時，將除列金融資產：

1.收取來自金融資產現金流量之合約權力失效。

2.移轉收取金融資產現金流量之合約權利，且業已移轉金融資產所有權之幾乎所有風險及報酬。

3.移轉收取金融資產現金流量之合約權利，惟未保留對金融資產之控制。

(十二)營業租賃

營業租賃之租賃收益/租賃給付扣除給予承租人/出租人之任何誘因，於租賃期間內按直線法攤銷認列為當期損益。

(十三)存貨

存貨按成本與淨變現價值孰低者衡量，成本計算採移動平均法。製成品及在製品之成本包括原料、直接人工、其他直接成本及生產相關之製造費用(按正常產能分攤)，惟不包括借款成本。比較成本與淨變現價值孰低時，採逐項比較法，淨變現價值係指在正常營業過程中之估計售價減除至完工尚須投入之估計成本及相關變動銷售費用後之餘額。

(十四)採用權益法之投資－關聯企業

1.關聯企業指所有本集團對其有重大影響而無控制之個體，一般係直接或間接持有其 20%以上表決權之股份。本集團對關聯企業之投資採用權益法處理，取得時依成本認列。

2.本集團對關聯企業取得後之損益份額認列為當期損益，對其取得後之其他綜合損益份額則認列為其他綜合損益。如本集團對任一關聯企業之損失份額等於或超過其在該關聯企業之權益(包括任何其他無擔保之應收款)，本集團不認列進一步之損失，除非本集團對該關聯企業發生法定義務、推定義務或已代其支付款項。

3.當關聯企業發生非損益及其他綜合損益之權益變動且不影響對關聯企業之持股比例時，本集團將所有權益變動按持股比例認列為「資本公積」。

4.本集團與關聯企業間交易所產生之未實現損益業已依其對關聯企業之權益比例銷除；除非證據顯示該交易所轉讓之資產已減損，否則未實現損失亦予以銷除。關聯企業之會計政策已作必要之調整，與本集團採用之政策一致。

5.當集團處分關聯企業時，如喪失對該關聯企業之重大影響，對於先前認列於其他綜合損益與該關聯企業有關之所有金額，其會計處理與本集團若直接處分相關資產或負債之基礎相同，亦即如先前認列為其他綜合損益之利益或損失，於處分相關資產或負債時將被重分類為損益，則

當喪失對關聯企業之重大影響時，將該利益或損失自權益重分類為損益。如仍對該關聯企業有重大影響，僅按比例將先前在其他綜合損益中認列之金額依上述方式轉出。

(十五)不動產、廠房及設備

1. 不動產、廠房及設備係以取得成本為入帳基礎，並將購建期間之有關利息資本化。

2. 後續成本只有在與該項目有關之未來經濟效益很有可能流入本集團，且該項目之成本能可靠衡量時，才包括在資產之帳面金額或認列為一項單獨資產。被重置部分之帳面金額應除列。所有其他維修費用於發生時認列為當期損益。

3. 不動產、廠房及設備之後續衡量採成本模式，除土地不提折舊外，其他按估計耐用年限以直線法計提折舊。不動產、廠房及設備各項組成若屬重大，則單獨提列折舊。

4. 本集團於每一財務年度結束日對各項資產之殘值、耐用年限及折舊方法進行檢視，若殘值及耐用年限之預期值與先前之估計不同時，或資產所含之未來經濟效益之預期消耗型態已有重大變動，則自變動發生日起依國際會計準則第 8 號「會計政策、會計估計變動及錯誤」之會計估計變動規定處理。

   各項資產之耐用年限如下：

房屋及建築	10年～55年
機器設備	2年～10年
辦公設備	3年～15年
其他設備	5年～15年

(十六)投資性不動產

投資性不動產以取得成本認列，後續衡量採成本模式。除土地外，按估計耐用年限以直線法提列折舊，耐用年限為 48～55 年。

(十七)非金融資產減損

本集團於資產負債表日針對有減損跡象之資產，估計其可回收金額，當可回收金額低於其帳面價值時，則認列減損損失。可回收金額係指一項資產之公允價值減處分成本或其使用價值，兩者較高者。除商譽外，當以前年度已認列資產減損之情況不存在或減少時，則迴轉減損損失，惟迴轉減損損失而增加之資產帳面金額，不超過該資產若未認列減損損失情況下減除折舊或攤銷後之帳面金額。

(十八)借款

係指向銀行借入之長、短期款項。本集團於原始認列時按公允價值減除交易成本衡量，後續就減除交易成本後之價款與贖回價值之任何差額，採有效利息法按攤銷程序於流通期間內認列利息費用於損益。

(十九)應付帳款及票據

1.係指因賒購原物料、商品或勞務所發生之債務及因營業與非因營業而發生之應付票據。

2.屬未付息之短期應付帳款及票據，因折現之影響不大，本集團係以原始發票金額衡量。

(二十)金融負債之除列

本集團於合約明定之義務履行、取消或到期時，除列金融負債。

(二十一)負債準備

負債準備(包含保固維修等)係因過去事件而負有現時法定或推定義務，很有可能需要流出具經濟效益之資源以清償該義務，且該義務之金額能可靠估計時認列。負債準備之衡量係以資產負債表日清償該義務所需支出之最佳估計現值衡量，折現率採用反映目前市場對貨幣時間價值及負債特定風險之評估之稅前折現率，折現之攤銷認列為利息費用。未來營運損失不得認列負債準備。

(二十二)員工福利

1.短期員工福利

短期員工福利係以預期支付之非折現金額衡量，並於相關服務提供時認列為費用。

2.退休金

(1)確定提撥計畫

對於確定提撥計畫，係依權責發生基礎將應提撥之退休基金數額認列為當期之退休金成本。預付提撥金於可退還現金或減少未來給付之範圍內認列為資產。

(2)確定福利計劃

A.確定福利計劃下之淨義務係以員工當期或過去服務所賺得之未來福利金額折現計算，並以資產負債表日之確定福利義務現值減除計畫資產之公允價值。確定福利淨義務每年由精算師採用預計單位福利法計算，折現率則參考資產負債表日與確定福

利計畫之貨幣及期間一致之政府公債之市場殖利率。

B.確定福利計畫產生之再衡量數於發生當期認列於其他綜合損益，並表達於保留盈餘。

C.前期服務成本之相關費用立即認列為損益。

D.期中期間之退休金成本係採用前一財務年度結束日依精算決定之退休金成本率，以年初至當期末為基礎計算。若該結束日後有重大市場變動及重大縮減、清償或其他重大一次性事項，則加以調整，並配合前述政策揭露相關資訊。

3.員工酬勞及董監酬勞

員工酬勞及董監事酬勞係於具法律或推定義務且金額可合理估計時，認列為費用及負債。嗣後股東會決議實際配發金額與估列金額有差異時，則按會計估計變動處理。另以股票發放員工酬勞者，計算股數之基礎為董事會決議日前一日收盤價。

(二十三)所得稅

1.所得稅費用包含當期及遞延所得稅。除與列入其他綜合損益或直接列入權益之項目有關之所得稅分別列入其他綜合損益或直接列入權益外，所得稅係認列於損益。

2.本集團依據營運及產生應課稅所得之所在國家在資產負債表日已立法或已實質性立法之稅率計算當期所得稅。管理階層就適用所得稅相關法規定期評估所得稅申報之狀況，並在適用情況下根據預期須向稅捐機關支付之稅款估列所得稅負債。未分配盈餘依所得稅法加徵之所得稅，嗣盈餘產生年度之次年度於股東會通過盈餘分派案後，始就實際盈餘之分派情形，認列之未分配盈餘所得稅費用。

3.遞延所得稅採用資產負債表法，按資產及負債之課稅基礎與其於合併資產負債表之帳面金額所產生之暫時性差異認列。源自於原始認列之商譽所產生之遞延所得稅負債則不予認列，若遞延所得稅源自於交易(不包括企業合併)中對資產或負債之原始認列，且在交易當時未影響會計利潤或課稅所得(課稅損失)，則不予認列。若投資子公司及關聯企業產生之暫時性差異，本集團可以控制暫時性差異迴轉之時點，且暫時性差異很有可能於可預見之未來不會迴轉者則不予認列。遞延所得稅採用在資產負債表日已立法或已實質性立法，並於有關之遞延所得稅資產實現或遞延所得稅負債清償時預期適用之稅率(及稅法)為準。

4.遞延所得稅資產於暫時性差異很有可能用以抵減未來應課稅所得之範圍內認列，並於每一資產負債表日重評估未認列及已認列之遞延

所得稅資產。

5. 當有法定執行權將所認列之當期所得稅資產及負債金額互抵且有意圖以淨額基礎清償或同時實現資產及清償負債時，始將當期所得稅資產及當期所得稅負債互抵；當有法定執行權將當期所得稅資產及當期所得稅負債互抵，且遞延所得稅資產及負債由同一稅捐機關課徵所得稅之同一納稅主體、或不同納稅主體產生但各主體意圖以淨額基礎清償或同時實現資產及清償負債時，始將遞延所得稅資產及負債互抵。

6. 期中期間之所得稅費用以估計之年度平均有效稅率應用至期中期間之稅前損益計算之，並配合前述政策揭露相關資訊。

7. 期中期間發生稅率變動時，本集團於變動發生當期一次認列變動影響數，對於所得稅與認列於損益之外的項目有關者，將變動影響數認列於其他綜合損益或權益項目，對於所得稅與認列於損益的項目有關者，則將變動影響數認列於損益。

(二十四)股本

1. 普通股分類為權益，直接歸屬於發行新股或認股權之增額成本以扣除所得稅後之淨額於權益中列為價款減項。

2. 本公司買回已發行股票時，將所支付之對價包括任何可直接歸屬之增額成本以稅後淨額認列為股東權益之減項。買回之股票後續再發行時，所收取之對價扣除任何可直接歸屬之增額成本及所得稅影響後與帳面價值之差額認列為股東權益之調整。另，自民國 91 年 1 月 1 日起，子公司持有本公司股票視同庫藏股處理。

(二十五)股利分配

分派予本公司股東之股利於本公司股東會決議分派股利時於財務報告認列，分派現金股利認列為負債，分派股票股利則認列為待分配股票股利，並於發行新股基準日時轉列普通股。

(二十六)收入認列

1. 商品銷售

(1)銷貨收入於產品之控制移轉予客戶時認列，客戶對於產品銷售之通路及價格具有裁量權，且本集團並無尚未履行之履約義務可能影響客戶接受該產品時。當產品被運送至指定地點，陳舊過時及滅失之風險已移轉予客戶，且客戶依據銷售合約接受產品，或有客觀證據證明所有接受標準皆已滿足時，商品交付方屬發生。

(2)本集團對銷售之產品提供標準保固，對產品瑕疵負有退款之義務，於銷貨時認列負債準備。

(3)應收帳款於商品交付予客戶時認列，因自該時點起本集團對合約價款具無條件權利，僅須時間經過即可自客戶收取對價。

2.取得客戶合約成本

本集團為取得客戶合約所發生之增額成本雖預期可回收，惟相關合約期間短於一年，故將該等成本於發生時認列於費用。

(二十七)營運部門

本集團營運部門資訊與提供給主要營運決策者之內部管理報告採一致之方式報導。主要營運決策者負責分配資源予營運部門並評估其績效，經辨認本集團之主要營運決策者為董事會。

五、重大會計判斷、估計及假設不確定性之主要來源

本集團編製本合併財務報告時，管理階層已運用其判斷以決定所採用之會計政策，並依據資產負債表日當時之情況對於未來事件之合理預期以作出會計估計及假設。所作出之重大會計估計與假設可能與實際結果存有差異，將考量歷史經驗及其他因子持續評估及調整。該等估計及假設具有導致資產及負債帳面金額於下個財務年度重大調整之風險。請詳下列對重大會計判斷、估計與假設不確定性之說明：

(一)會計政策採用之重要判斷

無。

(二)重要會計估計及假設

1.應收帳款之評價

當有客觀證據顯示減損跡象時，考量未來現金流量之估計。減損損失之金額係以該資產之帳面價值及估計未來現金流量按該金融資產之原始有效利率折現之現值間的差額衡量。若未來實際現金流量少於預期可能會產生重大減損損失。

2.存貨之評價

由於存貨須以成本與淨變現價值孰低者計價，故本集團必須運用判斷及估計決定資產負債表日存貨之淨變現價值。由於科技快速變遷，本集團評估資產負債表日存貨因正常損耗、過時陳舊或無市場銷售價值之金額，並將存貨成本沖減至淨變現價值。此存貨評價主要係依未來特定期間內之產品需求為估計基礎，故可能產生重大變動。

六、重要會計項目之說明

(一)現金及約當現金

現金：	107年9月30日	106年12月31日	106年9月30日
庫存現金及週轉金	$ 1,013	$ 1,468	$ 1,688
支票存款及活期存款	793,379	971,684	1,062,425
定期存款	1,195,117	677,251	478,158
約當現金：			
附買回債券	9,294	-	-
	$ 1,998,803	$ 1,650,403	$ 1,542,271

1.本集團往來之金融機構信用品質良好，且本集團與多家金融機構往來以分散信用風險，預期發生違約之可能性甚低。

2.本集團未有將現金及約當現金提供作為質押擔保之情形。

(二)透過損益按公允價值衡量之金融資產

項目	107年9月30日
流動項目：	
強制透過損益按公允價值衡量之金融資產	
上市櫃公司股票	$ 92,619
國內外基金	4,000
非上市櫃公司股票	303,510
	400,129
評價調整	(31,811)
	$ 368,318
非流動項目：	
強制透過損益按公允價值衡量之金融資產	
上市櫃公司股票	$ 239,542
非上市櫃公司股票	103,032
	342,574
評價調整	(266,483)
	$ 76,091

1.透過損益按公允價值衡量之金融資產認列於損益之明細如下：

	107年7月1日至9月30日	107年1月1日至9月30日
強制透過損益按公允價值衡量之金融資產		
權益工具	($ 16,047)	($ 7,448)

2.本集團持有之 August Gold Limited 股權帳面價值計$308,004，截至民

國107年9月30日止，已預收$61,690(帳列「其他流動負債」)，請詳附註六(十五)說明。

3.本集團未有將透過損益按公允價值衡量之金融資產提供質押之情形。

4.民國106年12月31日及106年9月30日之透過損益按公允價值衡量之金融資產與負債資訊請詳附註十二、(四)說明。

(三)按攤銷後成本衡量之金融資產

項目	107年9月30日
流動項目：	
原始到期日超過三個月之定期存款	$ 91,575

1.按攤銷後成本衡量之金融資產認列於損益之明細如下：

	107年7月1日至9月30日	107年1月1日至9月30日
利息收入	$ 908	$ 2,591

2.本集團未有將按攤銷後成本衡量之金融資產提供作為質押擔保之情形。

3.相關按攤銷後成本衡量之金融資產信用風險資訊請詳附註十二、(二)。

(四)應收票據及帳款

	107年9月30日	106年12月31日	106年9月30日
應收票據	$ 40,331	$ 44,747	$ 27,550
應收帳款	$ 963,169	$ 1,067,571	$ 979,110
減：備抵呆帳	(19,047)	(18,906)	(36,773)
	$ 944,122	$ 1,048,665	$ 942,337

1.應收帳款及應收票據之帳齡分析如下：

	107年9月30日		106年12月31日	
	應收帳款	應收票據	應收帳款	應收票據
未逾期	$ 899,490	$ 40,331	$ 1,017,290	$ 44,747
30天內	24,598	-	33,294	-
31-90天	34,548	-	10,507	-
91-180天	1,815	-	1,407	-
181天以上	2,718	-	5,073	-
	$ 963,169	$ 40,331	$ 1,067,571	$ 44,747

	106年9月30日	
	應收帳款	應收票據
未逾期	$ 834,670	$ 27,550
30天內	44,378	-
31-90天	38,776	-
91-180天	30,996	-
181天以上	30,290	-
	$ 979,110	$ 27,550

2. 在不考慮所持有之擔保品或其他信用增強之情況下，最能代表本集團應收票據於民國107年9月30日、106年12月31日及106年9月30日信用風險最大之暴險金額分別為$40,331、$44,747及$27,550；最能代表本集團應收帳款於民國107年9月30日、106年12月31日及106年9月30日信用風險最大之暴險金額分別為$944,122、$1,048,665及$942,337。

3. 本集團並未持有任何的擔保品。

4. 相關應收帳款及應收票據信用風險資訊請詳附註十二、(二)。

(五)存貨

	107年9月30日		
	成本	備抵跌價損失	帳面金額
原料	$ 226,219	($ 149,153)	$ 77,066
在製品	50,509	(481)	50,028
製成品	47,316	(33,013)	14,303
商品存貨	484,621	(31,221)	453,400
	$ 808,665	($ 213,868)	$ 594,797

	106年12月31日		
	成本	備抵跌價損失	帳面金額
原料	$ 213,687	($ 152,849)	$ 60,838
在製品	48,729	(1,163)	47,566
製成品	70,983	(31,576)	39,407
商品存貨	206,613	(15,289)	191,324
	$ 540,012	($ 200,877)	$ 339,135

	106年9月30日		
	成本	備抵跌價損失	帳面金額
原料	$ 211,897	($ 152,949)	$ 58,948
在製品	50,244	(952)	49,292
製成品	45,054	(31,503)	13,551
商品存貨	171,680	(14,297)	157,383
	$ 478,875	($ 199,701)	$ 279,174

本集團當期認列為費損之存貨成本：

	107年7月1日至9月30日	106年7月1日至9月30日
已出售存貨成本	$ 756,024	$ 760,415
存貨盤盈	-	-
存貨跌價損失(回升利益)	7,411	(1,432)
	$ 763,435	$ 758,983

	107年1月1日至9月30日	106年1月1日至9月30日
已出售存貨成本	$ 2,456,778	$ 2,393,276
存貨盤盈	(3)	(3)
存貨跌價損失	14,131	6,222
	$ 2,470,906	$ 2,399,495

(六)預付款項

	107年9月30日	106年12月31日	106年9月30日
預付貨款	$ 80,089	$ 287,962	$ 238,784
其他	28,999	28,149	27,559
	$ 109,088	$ 316,111	$ 266,343

(七)其他流動資產

	107年9月30日	106年12月31日	106年9月30日
受限制資產			
活期存款-保證金	$ 5,000	$ 5,000	$ 5,000
其他金融資產-流動			
定期存款	-	355,523	446,060
	$ 5,000	$ 360,523	$ 451,060

本集團之其他金融資產-流動係存款期間超過三個月以上之定期存款。

(八)採用權益法之投資

	107年9月30日	106年12月31日	106年9月30日
銀嘉科技股份有限公司	$ 7,846	$ 8,600	$ 9,029

1.關聯企業

(1)本集團重大關聯企業之基本資訊如下：

公司名稱	主要營業場所	持股比率 107年9月30日	持股比率 106年12月31日	持股比率 106年9月30日	關係之性質	衡量方法
銀嘉科技(股)	台灣	35.66%	35.66%	35.66%	持有20%以上表決權	權益法

(2)本集團主要關聯企業之彙總性財務資訊如下：

資產負債表

	銀嘉科技股份有限公司 107年9月30日	銀嘉科技股份有限公司 106年12月31日	銀嘉科技股份有限公司 106年9月30日
流動資產	$ 20,606	$ 22,835	$ 22,536
非流動資產	2,943	2,719	4,179
流動負債	(1,534)	(1,427)	(1,384)
非流動負債	(13)	(10)	(10)
淨資產總額	$ 22,002	$ 24,117	$ 25,321
關聯企業帳面價值	$ 7,846	$ 8,600	$ 9,029

綜合損益表

	銀嘉科技股份有限公司 107年7月1日至9月30日	銀嘉科技股份有限公司 106年7月1日至9月30日
收入	$ 2,680	$ 1,936
繼續營業單位本期淨損失	($ 681)	($ 1,938)

	銀嘉科技股份有限公司 107年1月1日至9月30日	銀嘉科技股份有限公司 106年1月1日至9月30日
收入	$ 5,881	$ 7,564
繼續營業單位本期淨損失	($ 2,116)	($ 1,910)

2.本集團採用權益法之投資於民國107年及106年7月1日至9月30日暨107年及106年1月1日至9月30日分別認列投資(損)益份額為$(242)、($691)、$(754)及($681)，係依被投資公司同期自編未經會計師核閱之財務報表評價而得。

(九)不動產、廠房及設備

	土地	房屋及建築	機器設備	辦公設備	其他	合計
107年1月1日						
成本	$ 298,958	$ 224,870	$ 778,172	$ 51,471	$ 51,904	$ 1,405,375
累計折舊	-	(79,923)	(758,399)	(42,847)	(43,908)	(925,077)
	$ 298,958	$ 144,947	$ 19,773	$ 8,624	$ 7,996	$ 480,298
107年						
1月1日	$ 298,958	$ 144,947	$ 19,773	$ 8,624	$ 7,996	$ 480,298
增添	-	-	8,480	4,318	4,099	16,897
本期除列(成本)	-	-	(383)	(2,261)	(1,580)	(4,224)
本期除列(累計折舊)	-	-	383	2,261	1,580	4,224
重分類	-	-	5,716	(113)	(1,655)	3,948
折舊費用	-	(2,841)	(8,207)	(1,645)	(2,420)	(15,113)
淨兌換差額	-	-	(140)	(214)	(132)	(486)
9月30日	$ 298,958	$ 142,106	$ 25,622	$ 10,970	$ 7,888	$ 485,544
107年9月30日						
成本	$ 298,958	$ 224,870	$ 768,959	$ 52,047	$ 33,463	$ 1,378,297
累計折舊	-	(82,764)	(743,337)	(41,077)	(25,575)	(892,753)
	$ 298,958	$ 142,106	$ 25,622	$ 10,970	$ 7,888	$ 485,544

	土地	房屋及建築	機器設備	辦公設備	其他	合計
106年1月1日						
成本	$ 298,958	$ 224,738	$ 780,182	$ 51,378	$ 52,448	$ 1,407,704
累計折舊	-	(76,096)	(756,210)	(40,692)	(45,257)	(918,255)
	$ 298,958	$ 148,642	$ 23,972	$ 10,686	$ 7,191	$ 489,449
106年						
1月1日	$ 298,958	$ 148,642	$ 23,972	$ 10,686	$ 7,191	$ 489,449
增添	-	132	712	495	1,504	2,843
本期處分	-	-	-	-	(129)	(129)
移轉	-	-	2,420	-	329	2,749
折舊費用	-	(2,876)	(8,078)	(1,980)	(1,301)	(14,235)
淨兌換差額	-	-	(395)	(153)	(37)	(585)
9月30日	$ 298,958	$ 145,898	$ 18,631	$ 9,048	$ 7,557	$ 480,092
106年9月30日						
成本	$ 298,958	$ 224,870	$ 772,216	$ 51,251	$ 53,703	$ 1,400,998
累計折舊	-	(78,972)	(753,585)	(42,203)	(46,146)	(920,906)
	$ 298,958	$ 145,898	$ 18,631	$ 9,048	$ 7,557	$ 480,092

1.本集團以不動產、廠房及設備提供擔保之資訊請詳附註八之說明。

2.不動產、廠房及設備無利息資本化之情形。

(十)投資性不動產

	土地	房屋及建築	合計
107年1月1日			
成本	$ 708,374	$ 602,053	$ 1,310,427
累計折舊及減損	(67,390)	(234,349)	(301,739)
	$ 640,984	$ 367,704	$ 1,008,688
107年			
1月1日	$ 640,984	$ 367,704	$ 1,008,688
折舊費用	-	(8,061)	(8,061)
9月30日	$ 640,984	$ 359,643	$ 1,000,627
107年9月30日			
成本	$ 708,374	$ 602,053	$ 1,310,427
累計折舊及減損	(67,390)	(242,410)	(309,800)
	$ 640,984	$ 359,643	$ 1,000,627

	土地	房屋及建築	合計
106年1月1日			
成本	$ 708,374	$ 602,053	$ 1,310,427
累計折舊及減損	(47,459)	(223,596)	(271,055)
	$ 660,915	$ 378,457	$ 1,039,372
106年			
1月1日	$ 660,915	$ 378,457	$ 1,039,372
折舊費用	-	(8,066)	(8,066)
9月30日	$ 660,915	$ 370,391	$ 1,031,306
106年9月30日			
成本	$ 708,374	$ 602,053	$ 1,310,427
累計折舊及減損	(47,459)	(231,662)	(279,121)
	$ 660,915	$ 370,391	$ 1,031,306

1.投資性不動產之租金收入及直接營運費用：

	107年7月1日至9月30日	106年7月1日至9月30日
投資性不動產之租金收入	$ 10,046	$ 10,913
當期產生租金收入之投資性不動產所發生之直接營運費用	$ 3,208	$ 2,485
當期未產生租金收入之投資性不動產所發生之直接營運費用	$ 1,615	$ 1,286

	107年1月1日至9月30日	106年1月1日至9月30日
投資性不動產之租金收入	$ 30,626	$ 30,130
當期產生租金收入之投資性不動產所發生之直接營運費用	$ 9,260	$ 8,349
當期未產生租金收入之投資性不動產所發生之直接營運費用	$ 4,748	$ 4,322

2. 本集團持有之投資性不動產於民國107年9月30日、106年12月31日及106年9月30日之公允價值分別為$2,028,751、$2,028,751及$2,224,734。上開公允價值每年依據獨立評價專家之評價結果，該評價係採用收益法，主要假設如下：

	107年9月30日	106年12月31日	106年9月30日
收益資本化率	1.94%~1.95%	1.94%~1.95%	1.95%~2.05%

3. 本集團以投資性不動產提供擔保之資訊請詳附註八之說明。

(十一)其他非流動資產

	107年9月30日	106年12月31日	106年9月30日
催收款項	$ 214,596	$ 201,305	$ 201,305
減：備抵呆帳-催收款項	(214,596)	(201,305)	(201,305)
存出保證金	80,656	85,410	99,566
淨確定福利資產	16,817	16,322	20,101
受限制資產-定期存款	517	512	512
遞延費用	6,518	8,465	9,498
其他	12,941	12,941	12,941
	$ 117,449	$ 123,650	$ 142,618

(十二)短期借款

	107年9月30日	106年12月31日	106年9月30日
銀行借款			
擔保信用狀購料借款	$ 491,241	$ 146,753	$ 39,916
利率區間	1.10%~3.31%	1.11%~2.82%	1.02%~2.31%

註：質押擔保情形請詳附註八說明。

(十三)其他應付款

	107年9月30日	106年12月31日	106年9月30日
應付薪資及獎金	$ 83,526	$ 100,897	$ 78,542
應付員工酬勞	3,843	1,131	4,293
應付董監酬勞	5,334	2,237	7,187
應付租金	2,194	3,447	4,270
應付勞務費	3,907	2,684	2,850
應付地價稅及房屋稅	4,940	2,452	4,882
應付加工費	958	2,697	1,122
應付運費	3,409	1,565	1,537
應付水電瓦斯費	2,570	2,629	2,732
其他	39,191	48,788	47,713
	$ 149,872	$ 168,527	$ 155,128

(十四)負債準備－流動

	107年	106年
保固準備		
1月1日餘額	$ 3,437	$ 4,687
本期減少之負債準備	(1,271)	(1,552)
9月30日餘額	$ 2,166	$ 3,135

本集團之保固負債準備主要係與液晶顯示器產品之銷售相關，保固負債準備係依據該產品之歷史保固資料估計，本集團預計該負債準備將於未來一年內使用。

(十五)其他流動負債

	107年9月30日	106年12月31日	106年9月30日
預收貨款	$ -	$ 195,477	$ 118,455
預收出售投資意向金	61,690	60,144	63,064
其他	16,881	16,957	5
	$ 78,571	$ 272,578	$ 181,524

截至民國107年9月30日止，本集團預收透過損益按公允價值衡量之金融資產股權處分意向金$61,690。

(十六)其他非流動負債

	107年9月30日	106年12月31日	106年9月30日
淨確定福利負債	$ 1,354	$ 1,433	$ 1,063
存入保證金	7,540	8,491	8,490
	$ 8,894	$ 9,924	$ 9,553

(十七)淨確定福利負債

1.確定給付計畫

(1)本公司及國內子公司依據「勞動基準法」之規定，訂有確定福利之退休辦法，適用於民國 94 年 7 月 1 日實施「勞工退休金條例」前所有正式員工之服務年資，以及於實施「勞工退休金條例」後選擇繼續適用勞動基準法員工之後續服務年資。員工符合退休條件者，退休金之支付係根據服務年資及退休前 6 個月之平均薪資計算，15 年以內(含)的服務年資每滿一年給予兩個基數，超過 15 年之服務年資每滿一年給予一個基數，惟累積最高以 45 個基數為限。本公司按月就薪資總額 2%提撥退休基金，以勞工退休準備金監督委員會之名義專戶儲存於台灣銀行。另本公司於每年年度終了前，估算前項勞工退休準備金專戶餘額，若該餘額不足給付次一年度內預估符合退休條件之勞工依前述計算之退休金數額，本公司將於次年度三月底前一次提撥其差額。

(2)民國 107 年及 106 年 7 月 1 日至 9 月 30 日暨 107 年及 106 年 1 月 1 日至 9 月 30 日，本集團依上述退休金辦法認列之退休金成本分別為$335、$267、$1,012 及$774。

(3)本集團於民國 108 年度預計支付予退休計畫之提撥金為$308。

2.確定提撥計畫

(1)自民國 94 年 7 月 1 日起，本公司及國內子公司依據「勞工退休金條例」，訂有確定提撥之退休辦法，適用於本國籍之員工。本公司及國內子公司就員工選擇適用「勞工退休金條例」所定之勞工退休金制度部分，每月按薪資之 6%提繳勞工退休金至勞保局員工個人帳戶，員工退休金之支付係依員工個人之退休金專戶及累積收益之金額採月退休金或一次退休金方式領取。

(2)本集團之大陸子公司按中華人民共和國政府規定之養老保險制度每月依當地員工薪資總額之一定比率提撥養老保險金，每位員工之退休金由政府管理統籌安排，本集團除按月提撥外，無進一步義務。

(3)民國 107 年及 106 年 7 月 1 日至 9 月 30 日暨 107 年及 106 年 1 月 1 日至 9 月 30 日，本集團依上開退休金辦法認列之退休金成本分別為$10,923、$9,114、$29,569 及$28,491。

(十八)所得稅

1.所得稅費用組成如下：

(1)所稅費用組成如下：

	107年7月1日至9月30日	106年7月1日至9月30日
當期所得稅：		
當期所得產生之所得稅	$ 11,664	$ 18,650
未分配盈餘加徵	-	-
以前年度所得稅低估數	34	-
當期所得稅總額	11,698	18,650
遞延所得稅：		
暫時性差異之原始產生及迴轉	(4,381)	(8,875)
稅率改變之影響	-	-
遞延所得稅總額	(4,381)	(8,875)
所得稅費用	$ 7,317	$ 9,775

	107年1月1日至9月30日	106年1月1日至9月30日
當期所得稅：		
當期所得產生之所得稅	$ 24,793	$ 45,476
未分配盈餘加徵	-	11,526
以前年度所得稅(高)低估數	(4,215)	6,344
當期所得稅總額	20,578	63,346
遞延所得稅：		
暫時性差異之原始產生及迴轉	14,067	(19,975)
稅率改變之影響	(7,256)	-
遞延所得稅總額	6,811	(19,975)
所得稅費用	$ 27,389	$ 43,371

(2)與其他綜合(損)益相關之所得稅：

	107年7月1日至9月30日	106年7月1日至9月30日
稅率改變之影響	$ -	$ -

	107年1月1日至9月30日	106年1月1日至9月30日
稅率改變之影響	($ 2,399)	$ -

2.本公司營利事業所得稅業經稅捐稽徵機關核定至民國105年度。

3.台灣所得稅法修正案於民國107年2月7日公布生效，營利事業所得稅之稅率自17%調增至20%，此修正自民國107年度開始適用。本集團業已就此稅率變動評估相關之所得稅影響。

(十九)普通股股本

1. 截至民國 107 年及 106 年 9 月 30 日止，本公司額定資本額均為 $5,000,000(內含員工認股權憑證$560,000 及公司債可轉換股份 $500,000)，流通在外股數(扣除庫藏股股數)皆為 171,371 仟股，每股面額新台幣 10 元。

2. 庫藏股

(1)本公司之子公司持有本集團股份變動明細如下：

	摩迪投資股份有限公司		
	股數(仟股)	帳面價值	市價
民國107年1月1日餘額	100	$ 6,042	$ 2,325
民國107年9月30日餘額	100	$ 6,042	$ 2,149

	摩迪投資股份有限公司		
	股數(仟股)	帳面價值	市價
民國106年1月1日餘額	100	$ 6,042	$ 1,506
民國106年9月30日餘額	100	$ 6,042	$ 2,144

(2)本公司持有之庫藏股票依證券交易法規定不得質押，亦不得享有股東權利。

(二十)資本公積

1. 依公司法規定，超過票面金額發行股票所得產生之溢額及受領贈與之所得產生之資本公積，除得用於彌補虧損外，於公司無累積虧損時，得按股東原有股份之比例發給新股或現金。另，依證券交易法之相關規定，以上開資本公積撥充資本時，每年以其合計數不超過實收資本額百分之十為限。公司非於盈餘公積填補資本虧損仍有不足時，不得以資本公積補充之。

2. 本集團資本公積明細及變動如下表：

	107年				
	庫藏股票交易	非控制權益	合併溢額	員工認股權	合計
1月1日	$ 32,683	$ 53,149	$ 9,473	$ 28,613	$ 123,918
本期變動	-	54,124	-	-	54,124
9月30日	$ 32,683	$ 107,273	$ 9,473	$ 28,613	$ 178,042

	106年				
	庫藏股票交易	非控制權益	合併溢額	員工認股權	合計
1月1日	$ 32,683	$ 52,225	$ 9,473	$ 28,613	$ 122,994
本期變動	-	623	-	-	623
9月30日	$ 32,683	$ 52,848	$ 9,473	$ 28,613	$ 123,617

(二十一)保留盈餘

1. 本公司章程規定，每年度決算獲有盈餘時，除依法先行完納稅捐及彌補歷年虧損後，應先提出其餘額之百分之十為法定盈餘公積，並依證券交易法及相關函釋規定提列特別盈餘公積，如尚有盈餘，加計以前年度未分配盈餘，為可供分配盈餘後，由董事會擬具分派議案，提請股東會決議分派之。

2. 法定盈餘公積除彌補公司虧損及按股東原有股份之比例發給新股或現金外，不得使用之，惟發給新股或現金者，以該項公積超過實收資本額百分之二十五之部分為限。

3. 本公司分派盈餘時，依法令規定須就當年度資產負債表日之其他權益項目借方餘額提列特別盈餘公積始得分派，嗣後其他權益項目借方餘額迴轉時，迴轉金額得列入可供分派盈餘中。

4. 本公司分別於民國 107 年 6 月 5 日及 106 年 6 月 2 日經股東會決議通過民國 106 年度及 105 年度盈餘分派案如下：

	106 年 度		105 年 度	
	金 額	每股股利(元)	金 額	每股股利(元)
法定盈餘公積	$ 5,893		$ 16,214	
特別盈餘公積	61,411		25,542	
股東現金股利	171,471	$ 1.00	171,471	$ 1.00

5. 有關員工酬勞及董監酬勞資訊，請詳附註六(二十八)。

(二十二)其他權益項目

	107年		
	外幣換算	未實現評價損益	總計
1月1日	($ 95,169)	$ 8,216	($ 86,953)
評價調整轉出至保留盈餘	-	(8,216)	(8,216)
外幣換算差異數－集團	(16,901)	-	(16,901)
9月30日	($ 112,070)	$ -	($ 112,070)

	106年		
	外幣換算	未實現評價損益	總計
1月1日	($ 44,175)	$ 18,633	($ 25,542)
外幣換算差異數－集團	(47,348)	(6,941)	(54,289)
9月30日	($ 91,523)	$ 11,692	($ 79,831)

(二十三)營業收入

	107年7月1日至9月30日	107年1月1日至9月30日
客戶合約之收入	$ 956,988	$ 3,063,021

1.客戶合約收入之細分

本集團之收入源於某一時點移轉之商品及勞務，收入可細分為下列主要產品線及地理區域：

107年7月1日至9月30日	台灣	大陸	調節及銷除	合計
外部客戶收入	$ 886,719	$ 70,269	$ -	$ 956,988
內部部門收入	10,737	53,760	(64,497)	-
部門收入	$ 897,456	$ 124,029	($ 64,497)	$ 956,988
商品類型				
電子通路業	$ 146,394	$ -	$ -	$ 146,394
光電製造業	296,580	31,853	(10,738)	317,695
機電事業群	101,647	89,344	(52,303)	138,688
智動化事業群	339,873	-	-	339,873
其他	12,965	2,829	(1,456)	14,338
	$ 897,459	$ 124,026	($ 64,497)	$ 956,988

107年1月1日至9月30日	台灣	大陸	調節及銷除	合計
外部客戶收入	$ 2,575,877	$ 487,144	$ -	$ 3,063,021
內部部門收入	57,191	107,551	(164,742)	-
部門收入	$ 2,633,068	$ 594,695	($ 164,742)	$ 3,063,021
商品類型				
電子通路業	$ 523,168	$ -	$ -	$ 523,168
光電製造業	895,849	105,683	(57,191)	944,341
機電事業群	252,637	470,772	(101,861)	621,548
智動化事業群	919,438	-	-	919,438
其他	41,976	18,240	(5,690)	54,526
	$ 2,633,068	$ 594,695	($ 164,742)	$ 3,063,021

2.合約負債

本集團認列客戶合約收入相關之合約負債如下:

	107年9月30日
預收貨款	$ 212,239

3.本集團合約負債期初餘額於民國107年7月1日至9月30日及107年1月1日至9月30日認列收入分別計$3,664及$179,895。

4.民國106年7月1日至9月30日及106年1月1日至9月30日營業收入之相關揭露請詳附註十二(五)說明。

(二十四)其他收入

	107年7月1日至9月30日	106年7月1日至9月30日
利息收入：		
銀行存款利息	$ 8,719	$ 4,522
按攤銷後成本衡量之金融資產利息收入	908	-
利息收入合計	9,627	4,522
租金收入	10,046	10,913
股利收入	2,385	-
其他收入－其他	6,786	11,222
	$ 28,844	$ 26,657

	107年1月1日至9月30日	106年1月1日至9月30日
利息收入：		
銀行存款利息	$ 20,490	$ 13,060
按攤銷後成本衡量之金融資產利息收入	2,591	-
利息收入合計	23,081	13,060
租金收入	30,626	30,130
股利收入	3,400	-
其他收入－其他	23,019	22,388
	$ 80,126	$ 65,578

（二十五）其他利益及損失

	107年7月1日至9月30日	106年7月1日至9月30日
處分及報廢不動產、廠房及設備損失	$ -	$ -
淨外幣兌換利益損失	(10,825)	(16,543)
透過損益按公允價值衡量之金融資產(負債)損失	(16,047)	(351)
以成本法衡量之金融資產減損損失	-	-
其他	1,568	(7,967)
	($ 25,304)	($ 24,861)

	107年1月1日至9月30日	106年1月1日至9月30日
處分及報廢不動產、廠房及設備損失	$ -	($ 129)
淨外幣兌換利益(損失)	43,607	(91,364)
透過損益按公允價值衡量之金融資產損失	(7,448)	(1,063)
以成本法衡量之金融資產減損損失	-	(306)
其他	(11,602)	(19,233)
	$ 24,557	($ 112,095)

（二十六）財務成本

	107年7月1日至9月30日	106年7月1日至9月30日
利息費用	$ 938	$ 81

	107年1月1日至9月30日	106年1月1日至9月30日
利息費用	$ 3,457	$ 337

(二十七)費用性質之額外資訊

	107年7月1日至9月30日	106年7月1日至9月30日
製成品、在製品及原物料存貨之變動	$ 713,259	$ 704,222
員工福利費用	149,616	145,963
不動產、廠房及設備折舊費用	4,458	4,633
攤銷費用	1,031	1,110
運輸費用	4,487	4,416
勞務費用	12,150	6,744
營業租賃租金	4,731	6,082
其他費用	34,346	38,359
營業成本及營業費用	$ 924,078	$ 911,529

	107年1月1日至9月30日	106年1月1日至9月30日
製成品、在製品及原物料存貨之變動	$ 2,314,417	$ 2,233,755
員工福利費用	449,286	438,070
不動產、廠房及設備折舊費用	15,113	14,235
攤銷費用	3,188	3,515
運輸費用	12,439	10,872
勞務費用	25,630	20,901
營業租賃租金	16,873	14,408
其他費用	109,561	97,962
營業成本及營業費用	$ 2,946,507	$ 2,833,718

(二十八)員工福利費用

	107年7月1日至9月30日	106年7月1日至9月30日
薪資費用	$ 123,011	$ 127,003
勞健保費用	5,145	6,957
退休金費用	17,295	9,381
其他用人費用	4,165	2,622
	$ 149,616	$ 145,963

	107年1月1日至9月30日	106年1月1日至9月30日
薪資費用	$ 379,496	$ 376,519
勞健保費用	20,017	20,794
退休金費用	36,618	29,265
其他用人費用	13,155	11,492
	$ 449,286	$ 438,070

1. 依本公司章程規定，本公司依當年度獲利狀況扣除累積虧損後，如尚有餘額，應提撥員工酬勞不低於1%，董事及監察人酬勞不高於2%。

2. 本公司民國107年及106年7月1日至9月30日暨107年及106年1月1日至9月30日員工酬勞估列金額分別為$223、$472、$1,714及$944；董監酬勞估列金額分別為$447、$991、$3,429 及$1,982，前述金額帳列薪資費用科目。

   民國107年1月1日至9月30日係依截至當期止之獲利情況，分別以1%及2%估列。

3. 經董事會決議之民國106年度員工酬勞及董監酬勞與民國106年度財務報告認列之金額一致。本公司董事會通過之員工酬勞及董監事酬勞相關資訊可至公開資訊觀測站查詢。

(二十九)每股盈餘

	107年7月1日至9月30日		
	稅後金額	加權平均流通在外股數(仟股)	每股盈餘(元)
基本每股盈餘			
歸屬於母公司普通股股東之本期淨利	$ 19,778	171,371	$ 0.12
稀釋每股盈餘			
歸屬於母公司普通股股東之本期淨利	19,778	171,371	
具稀釋作用之潛在普通股之影響			
-員工酬勞	-	10	
屬於母公司普通股股東之本期淨利加潛在普通股之影響	$ 19,778	171,381	$ 0.12

	106年7月1日至9月30日		
	稅後金額	加權平均流通在外股數(仟股)	每股盈餘(元)
基本每股盈餘			
歸屬於母公司普通股股東之本期淨利	$ 41,884	171,371	$ 0.24
稀釋每股盈餘			
歸屬於母公司普通股股東之本期淨利	41,884	171,371	
具稀釋作用之潛在普通股之影響			
-員工酬勞	-	18	
屬於母公司普通股股東之本期淨利加潛在普通股之影響	$ 41,884	171,389	$ 0.24

	107年1月1日至9月30日		
	稅後金額	加權平均流通在外股數(仟股)	每股盈餘(元)
基本每股盈餘			
歸屬於母公司普通股股東之本期淨利	$ 162,244	171,371	$ 0.95
稀釋每股盈餘			
歸屬於母公司普通股股東之本期淨利	162,244	171,371	
具稀釋作用之潛在普通股之影響			
-員工酬勞	-	80	
屬於母公司普通股股東之本期淨利加潛在普通股之影響	$ 162,244	171,451	$ 0.95

	106年1月1日至9月30日		
	稅後金額	加權平均流通在外股數(仟股)	每股盈餘(元)
基本每股盈餘			
歸屬於母公司普通股股東之本期淨利	$ 80,506	171,371	$ 0.47
稀釋每股盈餘			
歸屬於母公司普通股股東之本期淨利	80,506	171,371	
具稀釋作用之潛在普通股之影響-員工酬勞	-	46	
屬於母公司普通股股東之本期淨利加潛在普通股之影響	$ 80,506	171,417	$ 0.47

(三十)與非控制權益之交易

本集團於民國107年及106年1月1日至9月30日間向少數股權之股東購入富相科技及達威光電之部份已發行股份，收購日之帳面金額減除支付對價後餘額分別計$54,124及$623列入資本公積項下。

(三十一)營業租賃

1. 本集團以營業租賃將辦公大樓出租，民國107年及106年7月1日至9月30日暨107年及106年1月1日至9月30日認列租金收入分別計$10,046、$10,913、$30,626及$30,130。本集團依一系列之租賃協議出租辦公大樓，該些協議自民國102年至110年屆滿，且該些協議並無續約權。另，因不可取消合約之未來最低應收租賃給付總額如下：

	107年9月30日	106年12月31日	106年9月30日
不超過1年	$ 34,631	$ 44,193	$ 63,534
超過1年但不超過5年	46,593	42,288	49,328
	$ 81,224	$ 86,481	$ 112,862

2. 本集團以營業租賃承租辦公大樓及廠房，租賃期間至民國112年屆滿，並附有優先續租權。民國107年及106年7月1日至9月30日暨107年及106年1月1日至9月30日認列租金支出分別計$4,731、$6,082、$16,873及$14,408。另，因不可取消合約之未來最低租賃給付總額如下：

	107年9月30日	106年12月31日	106年9月30日
不超過1年	$ 25,092	$ 19,012	$ 21,481
超過1年但不超過5年	106,485	-	3,580
超過五年	-	-	-
	$ 131,577	$ 19,012	$ 25,061

(三十二)來自籌資活動之負債之變動

	短期借款	其他非流動負債	現金股利	取得子公司股權	來自籌資活動之負債總額
107年1月1日	$ 146,753	$ 8,491	$ -	$ -	$ 155,244
籌資現金流量之變動	344,488	(951)	(171,471)	(74,637)	97,429
107年9月30日	$ 491,241	$ 7,540	($ 171,471)	($ 74,637)	$ 252,673

七、關係人交易

(一)關係人之名稱及關係

關係人名稱	與本集團關係
全體董事、總經理及主要管理階層等	本集團主要管理階層及治理單位

(二)與關係人間之重大交易事項

本集團關係人交易對象均為列入合併財務報告之編製個體，相關交易業已沖銷。

(三)主要管理階層薪酬資訊

	107年7月1日至9月30日	106年7月1日至9月30日
薪資及其他短期員工福利	$ 14,800	$ 12,434
退職後福利	(3)	176
	$ 14,797	$ 12,610

	107年1月1日至9月30日	106年1月1日至9月30日
薪資及其他短期員工福利	$ 42,884	$ 37,089
退職後福利	542	496
	$ 43,426	$ 37,585

八、質押之資產

資　產　明　細	107年9月30日	106年12月31日	106年9月30日	擔保用途
質押活期存款及備償戶(帳列「其他流動資產」)	$ 5,000	$ 5,000	$ 5,000	金融機構短期借款擔保及海關保證金
不動產、廠房及設備暨投資性不動產	1,356,352	1,366,941	1,369,615	金融機構短期借款擔保
存出保證金(帳列「其他非流動資產」)	80,656	85,410	99,566	為子公司金融機構短期借款擔保及催收款強制執行提存保證金
定期存款(帳列「其他非流動資產」)	517	512	512	海關進口貨物擔保
	$ 1,442,525	$ 1,457,863	$ 1,474,693	

九、重大或有負債及未認列之合約承諾

(一)截至民國107年9月30日止，本集團已開立尚未使用之信用狀計$146,677。

(二)截至民國107年9月30日止，本集團為銷貨履約擔保所開立之保證票據為$62,121。

(三)本集團內之資金貸與及背書保證請詳附註十三之說明。

(四)本集團簽訂承租辦公室及廠房合約，未來各年度租金支出請詳附註六(三十一)之說明。

十、重大之災害損失

無。

十一、重大之期後事項

無。

十二、其他

(一)資本管理

本集團之資本管理目標，係為保障集團能繼續經營，維持最佳資本結構以降低資金成本，並為股東提供報酬。為了維持或調整資本結構，本集團可能會調整支付予股東之股利金額、退還資本予股東、發行新股或出售資產以降低債務以達成維持及調整資本結構之目的。

(二)金融工具

1.金融工具之種類

	107年9月30日	106年12月31日	106年9月30日
金融資產			
透過損益按公允價值衡量之金融資產			
強制透過損益按公允價值衡量之金融資產	$ 444,409	$ 56,502	$ 71,109
備供出售之金融資產			
備供出售之金融資產	$ -	$ 18,734	$ 22,210
以成本衡量之金融資產	-	363,341	379,094
	$ -	$ 382,075	$ 401,304
按攤銷後成本衡量之金融資產			
現金及約當現金	1,998,803	1,650,403	1,542,271
按攤銷後成本衡量之金融資產	91,575	-	-
應收票據	40,331	44,747	27,550
應收帳款	944,122	1,048,665	942,337
其他應收款	8,544	11,688	17,343
存出保證金(帳列「其他非流動資產」	80,656	85,410	99,566
其他金融資產	-	355,523	446,060
	$ 3,608,440	$ 4,017,088	$ 3,948,844
金融負債			
透過損益按公允價值衡量之金融負債			
強制透過損益按公允價值衡量之金融負債	$ -	$ -	$ 227
按攤銷後成本衡量之金融負債			
短期借款	$ 491,241	$ 146,753	$ 39,916
應付票據	962	3,017	5,364
應付帳款	302,568	519,221	527,312
其他應付帳款	149,872	168,527	155,128
存入保證金	7,540	8,491	8,490
	$ 952,183	$ 846,009	$ 736,210

2.風險管理政策

(1)本集團日常營運受多項財務風險之影響，包含市場風險（匯率風險及價格風險）、信用風險及流動性風險。

(2)風險管理工作由財務部門按照董事會核准之政策執行。本集團財務部門透過與集團內各營運單位密切合作，以負責辨認、評估與規避財務風險。

3.重大財務風險之性質及程度

(1)市場風險

匯率風險

A.本集團係跨國營運，因此受相對與本公司及各子公司功能性貨幣不同的交易所產生之匯率風險，主要為美元及人民幣。相關匯率風險來自未來之商業交易及已認列之資產與負債。

B.本集團從事之業務涉及若干功能性貨幣(本集團及部分子公司之功能性貨幣為台幣、部分子公司之功能性貨幣為美金及人民幣)，故受匯率波動之影響，具重大匯率波動影響之外幣資產負債資訊如下：

	107年9月30日		106年12月31日	
	外幣(仟元)	匯率	外幣(仟元)	匯率
(外幣：功能性貨幣)				
金融資產				
貨幣性項目				
美金：新台幣	$ 43,173	30.53	$ 38,136	29.76
歐元：新台幣	172	35.48	80	35.57
港幣：新台幣	26,926	3.90	18,972	3.81
日幣：新台幣	1,753	0.27	1,172	0.26
美金：人民幣	10,934	6.88	4,545	6.52
港幣：人民幣	3,077	1.14	3,077	1.20
金融負債				
貨幣性項目				
美金：新台幣	$ 4,638	30.53	$ 5,643	29.76
歐元：新台幣	477	35.48	605	35.57
港幣：新台幣	1,871	3.90	1,844	3.81
日幣：新台幣	16,868	0.27	11,322	0.26
星幣：新台幣	15	22.21	61	23.94

	106年9月30日	
	外幣(仟元)	匯率
(外幣：功能性貨幣)		
金融資產		
貨幣性項目		
美金：新台幣	$ 40,457	30.26
歐元：新台幣	141	35.75
港幣：新台幣	16,009	3.87
日幣：新台幣	882	0.27
美金：人民幣	7,692	6.65
港幣：人民幣	3,077	1.18
金融負債		
貨幣性項目		
美金：新台幣	$ 4,882	30.26
歐元：新台幣	105	35.75
港幣：新台幣	1,906	3.87
日幣：新台幣	13,147	0.27

C.本集團貨幣性項目因匯率波動具重大影響於民國107年及106年7月1日至9月30日暨107年及106年1月1日至9月30日認列之全部兌換(損)益(含已實現及未實現)彙總金額分別為$(10,825)、($16,543)、$43,607及($91,364)。

D.本集團匯率風險之敏感度分析係針對財務報導日之主要外幣貨幣性之相關外幣升值或貶值對本集團損益之影響，當新台幣對上述外幣相對升值或貶值1%，而其他所有因素維持不變之情況下，民國107年及106年7月1日至9月30日暨107年及106年1月1日至9月30日增加或減少分別為$(662)、$1,570、$13,375及$11,838。

價格風險

A.本集團暴露於價格風險的權益工具，係所持有帳列於透過損益按公允價值衡量之金融資產及備供出售之金融資產。為管理權益工具投資之價格風險，本集團將其投資組合分散，其分散之方式係根據本集團設定之限額進行。

B.本集團主要投資於國內公司發行之權益工具，此等權益工具之價格會因該投資標的未來價值之不確定性而受影響。若該等權益工具價格上升或下跌1%，而其他所有因素維持不變之情況下，對民國107年及106年1月1日至9月30日之稅後淨利因來自透過損益按公允價值衡量之權益工具之利益或損失將分別增加或減少$4,444及$711。

現金流量及公允價值利率風險

A.本集團借入之短期購料借款係為固定利率之債務，其風險端視市場利率之變動，惟因係於一年內到期，預期將不致產生重大之市場風險。

B.若借款利率增加或減少 1%，在所有其他因素維持不變之情況下，民國 107 年及 106 年 1 月 1 日至 9 月 30 日之稅後淨利將分別減少或增加$4,912 及$399。

(2)信用風險

A.本集團之信用風險係因客戶或金融工具之交易對手無法履行合約義務而導致本集團財務損失之風險，主要來自交易對手無法清償按收款條件支付之應收帳款，及分類為按攤銷後成本衡量、與分類為透過損益按公允價值衡量之債務工具投資的合約現金流量。

B.本集團依內部明定之授信政策，集團內各營運個體於訂定付款及提出交貨之條款與條件前，須就其每一新客戶進行管理及信用風險分析。內部風險控管係透過考慮其財務狀況、過往經驗及其他因素，以評估客戶之信用品質。

C.本集團採用 IFRS 9 提供之前提假設，作為判斷自原始認列後金融工具之信用風險是否有顯著增加之依據，係當合約款項按約定之支付條款逾期超過 90 天，視為金融資產自原始認列後信用風險已顯著增加。

D.本集團採用 IFRS 9 提供前提假設，當合約款項按約定之支付條款逾期超過 180 天，視為已發生違約。

E.本集團按客戶類型之特性將對客戶之應收帳款，採用簡化作法以準備矩陣基礎估計預期信用損失。

F.本集團納入對未來前瞻性的考量調整按特定期間歷史及現時資訊所建立之損失率，以估計應收帳款的備抵損失，民國 107 年 9 月 30 日之準備矩陣如下：

	未逾期	逾期30天	逾期31-90天	逾期91-180天	逾期181天以上	合計
107年9月30日						
預期損失率	0.03%-0.26%	0.03%-9.99%	0.03%-58.21%	0.03%-100%	100%	
帳面價值總額	$ 899,490	$ 24,598	$ 34,548	$ 1,815	$ 2,718	$ 963,169
備抵損失	$ 3,492	$ 1,192	$ 10,351	$ 1,294	$ 2,718	$ 19,047

G.本集團採簡化作法之應收帳款備抵損失變動表如下：

	107年度
1月1日_IAS 39	$ 18,906
適用新準則調整數	-
1月1日_IFRS 9	18,906
減損損失提列	141
9月30日	$ 19,047

H.民國106年12月31日及106年9月30日之信用風險資訊請詳附註十二、(四)說明。

(3)流動性風險

A.現金流量預測是由集團內各營運個體執行，並由集團財務部予以彙總。集團財務部監控集團流動資金需求之預測，確保其有足夠資金得以支應營運需要，並在任何時候維持足夠之未支用的借款承諾額度，以使集團不致違反相關之借款限額或條款，此等預測考量集團之債務融資計畫、債務條款遵循、符合內部資產負債表之財務比率目標。

B.下表係本集團之非衍生性金融負債，按相關到期日予以分組，非衍生性金融負債係依據資產負債表日至合約到期日之剩餘期間進行分析，下表所揭露之合約現金流量金額係未折現之金額：

非衍生性金融負 107年9月30日	1年內	1至2年	2至3年	3年以上
短期借款	$ 491,241	$ -	$ -	$ -
應付票據	962	-	-	-
應付帳款	269,275	33,292	-	-
其他應付款	149,872	-	-	-
其他非流動負債	7,540	-	-	-

非衍生性金融負 106年12月31日	1年內	1至2年	2至3年	3年以上
短期借款	$ 146,753	$ -	$ -	$ -
應付票據	3,017	-	-	-
應付帳款	491,288	27,933	-	-
其他應付款	168,527	-	-	-
其他非流動負債	8,491	-	-	-

非衍生性金融負 106年9月30日	1年內	1至2年	2至3年	3年以上
短期借款	$ 39,916	$ -	$ -	$ -
應付票據	5,364	-	-	-
應付帳款	512,530	14,782	-	-
其他應付款	155,128	-	-	-
其他非流動負債	8,490	-	-	-

(三)公允價值資訊

1. 為衡量金融及非金融工具之公允價值所採用評價技術的各等級定義如下：

第一等級：企業於衡量日可取得之相同資產或負債於活絡市場之報價(未經調整)。活絡市場係指有充分頻率及數量之資產或負債交易發生，以在持續基礎上提供定價資訊之市場。本集團投資之上市櫃股票投資的公允價值皆屬之。

第二等級：資產或負債直接或間接之可觀察輸入值，但包括於第一等級之報價者除外。本集團投資之無活絡市場之債券工具投資屬之。

第三等級：資產或負債之不可觀察輸入值。

2. 以成本衡量之投資性不動產的公允價值資訊請詳附註六、(十)說明。

3. 非以公允價值衡量之金融工具

本集團包括現金及約當現金、應收票據、應收帳款、其他應收款、其他非流動資產之存出保證金、短期借款、應付票據、應付帳款及其他應付款的帳面金額係公允價值之合理近似值。

4. 以公允價值衡量之金融及非金融工具，本集團依資產及負債之性質、特性及風險及公允價值等級之基礎分類，相關資訊如下：

(1)本集團依資產及負債之性質分類，相關資訊如下：

107年9月30日	第一等級	第二等級	第三等級	合計
資產				
重複性公允價值				
透過損益按公允價值衡量之金融資產				
權益證券	$ 80,555	$ -	$ 363,854	$ 444,409

106年12月31日	第一等級	第二等級	第三等級	合計
資產				
重複性公允價值				
透過損益按公允價值衡量之金融資產				
權益及債務證券	$ 56,502	$ -	$ -	$ 56,502
備供出售金融資產				
權益證券	18,734	-	-	18,734
	$ 75,236	$ -	$ -	$ 75,236

106年9月30日	第一等級	第二等級	第三等級	合計
資產				
重複性公允價值				
透過損益按公允價值衡量之金融資產				
權益及債務證券	$ 71,109	$ -	$ -	$ 71,109
備供出售金融資產				
權益證券	22,210	-	-	22,210
	$ 93,319	$ -	$ -	$ 93,319
負債				
重複性公允價值				
透過損益按公允價值衡量之金融負債				
遠期外匯合約	$ -	$ 227	$ -	$ 227

(2)本集團用以衡量公允價值所使用之方法及假設說明如下：

A.本集團採用市場報價作為公允價輸入值(即第一等級)者，依工具之特性分列如下：

	上市(櫃)公司股票	開放型基金
市場報價	收盤價	淨值

B.除上述有活絡市場之金融工具外，其餘金融工具之公允價值係以評價技術或參考交易對手報價取得。透過評價技術所取得之公允價值可參照其他實質上條件及特性相似之金融工具之現時公允價值、現金流量折現法或以其他評價技術，包括以合併資產負債表日可取得之市場資訊運用模型計算而得(例如櫃買中心參考殖利率曲線、Reuters 商業本票利率平均報價)。

C.評價模型之產出係預估之概算值，而評價技術可能無法反映本集團持有金融工具及非金融工具之所有攸關因素。因此評價模型之預估值會適當地根據額外之參數予以調整，例如模型風險或流動性風險等。根據本集團之公允價值評價模型管理政策及相關之控

制程序，管理階層相信為允當表達合併資產負債表中金融工具及非金融工具之公允價值，評價調整係屬適當且必要。在評價過程中所使用之價格資訊及參數係經審慎評估，且適當地根據目前市場狀況調整。

5. 民國107年及106年1月1日至9月30日無第一等級與第二等級間之任何移轉。

6. 下表列示民國107年1月1日至9月30日第三等級之權益工具變動(民國106年第三季:無。)：

	107年
	權益工具
1月1日	$ 356,138
認列於損益之利益	(4,276)
匯率影響數	11,992
9月30日	$ 363,854

7. 民國107年及106年1月1日至9月30日無自第三等級轉入及轉出之情形。

8. 本集團對於公允價值歸類於第三等級之評價流程係由財務部門負責進行金融工具之獨立公允價值驗證，藉獨立來源資料使評價結果貼近市場狀態、確認資料來源係獨立、可靠、與其他資源一致以及代表可執行價格，並定期校準評價模型、進行回溯測試、更新評價模型所需輸入值及資料及其他任何必要之公允價值調整，以確保評價結果係屬合理。

9. 有關屬第三等級公允價值衡量項目所使用評價模型之重大不可觀察輸入值之量化資訊分析說明如下：

	107年9月30日 公允價值	評價技術	重大不可觀察 輸入值	輸入值與 公允價值關係
非衍生權益工具：				
非上市上櫃公司股票	$ 362,214	可類比上市上櫃公司法	本益比乘數、本淨比乘數、企業價值對營業利益比乘數、企業價值對稅前息前折舊攤提前利益比乘數、缺乏市場流通性折價、控制權溢價。	乘數及控制權溢價愈高，公允價值愈高；缺乏市場流通性折價愈高，公允價值愈低：加權平均資金成本及少數股權折價愈高，公允價值愈低；長期營收成長率及長期稅前營業淨利愈高，公允價值愈高。
非上市上櫃公司股票	1,640	淨資產價值法	不適用	不適用

(四)初次適用國際財務報導準則第 9 號之影響及民國 106 年度適用國際會計準則 39 號之資訊

1.民國 106 年度及 106 年第三季所採用之重大會計政策說明如下：

(1)透過損益按公允價值衡量之金融資產及負債

A.透過損益按公允價值衡量之金融資產及負債係指持有供交易之金融資產及負債或原始認列時被指定為透過損益按公允價值衡量之金融資產及負債。金融資產及負債若在取得時主要係為短期內出售，則分類為持有供交易之金融資產及負債。衍生工具除依避險會計被指定為避險項目外，均分類為持有供交易之金融資產及負債。

B.本集團對於符合交易慣例之透過損益按公允價值衡量之金融資產及負債係採用交割日會計。

C.透過損益按公允價值衡量之金融資產及負債，於原始認列時按公允價值衡量，相關交易成本則認列為當期損益。續後按公允價值衡量，其公允價值之變動認列於當期損益。

(2)備供出售金融資產

A.備供出售金融資產係指定為備供出售或未被分類為任何其他類別之非衍生金融資產。

B.本集團對於符合交易慣例之備供出售金融資產係採用交割日會計。

C.備供出售金融資產於原始認列時按其公允價值加計交易成本衡量，續後按公允價值衡量，其公允價值之變動認列於其他綜合損益。對於持有無活絡市場公開報價之權益工具投資，或與此種無活絡市場公開報價權益工具連結且須以交付該等權益工具交割之衍生工具，當其公允價值無法可靠衡量時，本集團將其列報為「以成本衡量之金融資產」。

(3)放款及應收款

A.應收帳款

係屬原始產生之放款及應收款，係在正常營業過程中就商品銷售或服務提供所產生之應收客戶款項。於原始認列時按公允價值衡量，後續採有效利息法按攤銷後成本扣除減損後之金額衡量。惟屬未付息之短期應收帳款，因折現影響不重大，後續以原始發票金額衡量。

B.無活絡市場之債務工具投資

(A)係屬非原始產生之放款及應收款，無活絡市場公開報價，具固定或可決定收取金額之債券投資，且同時符合下列條件者：

a.未分類為透過損益按公允價值衡量。

b.未指定為備供出售。

c.未因信用惡化以外之因素，致持有人可能無法回收幾乎所有之原始投資。

(B)本集團對於符合交易慣例之無活絡市場之債務工具投資係採用交割日會計。

(C)無活絡市場之債務工具投資於原始認列時按交易日之公允價值加計交易成本衡量，續後採用有效利息法按攤銷後成本減除減損後之金額衡量。有效利息法之折溢價攤銷認列於當期損益。

(4)金融資產減損

A.本集團於每一資產負債表日，評估是否已經存在減損之任何客觀證據，顯示某一或一組金融資產於原始認列後發生一項或多項事項(即「損失事項」)，且該損失事項對一金融資產或一組金融資產之估計未來現金流量具有能可靠估計之影響。

B.本集團用以決定是否存在減損損失之客觀證據的政策如下：

(A)發行人或債務人之重大財務困難；

(B)違約，諸如利息或本金支付之延滯或不償付；

(C)本集團因與債務人財務困難相關之經濟或法律理由，給予債務人原不可能考量之讓步；

(D)債務人將進入破產或其他財務重整之可能性大增；

(E)由於財務困難而使該金融資產之活絡市場消失；

(F)可觀察到之資料顯示，一組金融資產之估計未來現金流量於該等資產原始認列後發生可衡量之減少，雖然該減少尚無法認定係屬該組中之某個別金融資產，該等資料包括該組金融資產之債務人償付狀況之不利變化，或與該組金融資產中資產違約有關之全國性或區域性經濟情況；

(G)發行人所處營運之技術、市場、經濟或法令環境中所發生具不利影響之重大改變的資訊，且該證據顯示可能無法收回該權益投資之投資成本；或

(H)權益工具投資之公允價值大幅或持久性下跌至低於成本。

C.本集團經評估當已存在減損之客觀證據，且已發生減損損失時，按以下各類別處理：

(A)以攤銷後成本衡量之金融資產

係以該資產帳面金額與估計未來現金流量按該金融資產原始有效利率折現之現值間之差額，認列減損損失於當期損益。當後續期間減損損失金額減少，且該減少能客觀地與認列減損後發生之事項相連結，則先前認列之減損損失在未認列減損情況下於迴轉日應有之攤銷後成本之限額內於當期損益迴

轉。認列及迴轉減損損失之金額係藉由備抵帳戶調整資產之帳面金額。

(B)以成本衡量之金融資產

係以該資產帳面金額與估計未來現金流量按類似金融資產之現時市場報酬率折現之現值間之差額，認列減損損失於當期損益。此類減損損失續後不得迴轉。認列減損損失之金額係藉由備抵帳戶調整資產之帳面金額。

(C)備供出售金融資產

係以該資產之取得成本(減除任何已償付之本金及攤銷數)與現時公允價值間之差額，再減除該金融資產先前列入損益之減損損失，自其他綜合損益重分類至當期損益。屬債務工具投資者，當其公允價值於後續期間增加，且該增加能客觀地連結至減損損失認列後發生之事項，則該減損損失於當期損益迴轉。屬權益工具投資者，其已認列於損益之減損損失不得透過當期損益迴轉。認列及迴轉減損損失之金額係藉由備抵帳戶調整資產之帳面金額。

2.金融資產帳面價值自民國106年12月31日依據IAS 39編製轉換至民國107年1月1日依據IFRS9編製之調節說明如下：

	透過損益按公允價值衡量	備供出售金融資產－權益	按攤銷後成本衡量	其他金融資產	以成本衡量之金融資產	合計	影響	
							保留盈餘	其他權益
IAS39	$ 56,502	$ 18,734	$ -	$ 355,523	$ 363,341	$794,100	$ 2,184,620	$ 8,216
轉入透過損益按公允價值衡量	382,075	(18,734)	-	-	(363,341)	-	8,216	(8,216)
轉入按攤銷後成本衡量	-	-	355,523	(355,523)	-	-	-	-
IFRS9	$ 438,577	$ -	$ 355,523	$ -	$ -	$ 794,100	$ 2,192,836	$ -

(1)於IAS 39分類為「其他金融資產」之原始到期日超過三個月之定期存款計$355,523，因有符合現金流量完全為支付本金及流通在外本金金額之利息條件，且本集團持有係為收取現金流量，因此於初次適用IFRS 9時，分類至「按攤銷後成本衡量之金融資產」$355,523。

(2)於IAS 39分類為「透過損益按公允價值衡量之金融資產、備供出售金融資產、以成本衡量金融資產-流動及以成本衡量金融資產-非流動」之權益工具計$56,502、$18,734、$295,819及$67,522，依據IFRS 9規定應分類為「透過損益按公允價值衡量之金融資產(權益工具)」。因此於初次適用IFRS 9時，分類為「透過損益按公允價值

衡量之金融資產」調增$438,577；另調增保留盈餘$8,216及調減其他權益$8,216。

3.民國106年12月31日及106年9月30日之重要會計項目之說明如下：

(1)透過損益按公允價值衡量之金融資產及負債

項目	106年12月31日	106年9月30日
流動項目：		
持有供交易之金融資產		
上市櫃公司股票	$ 90,691	$ 90,794
國內外基金	-	15,000
小計	90,691	105,794
評價調整	(34,189)	(34,685)
合計	$ 56,502	$ 71,109

項目	106年12月31日	106年9月30日
流動項目：		
持有供交易之金融負債		
非避險之衍生性金融工具		
-遠期外匯合約	$ -	$ 277

A.本集團持有供交易之金融資產於民國106年7月1日至9月30日及106年1月1日至9月30日分別認列之淨(損)益計($351)及($1,063)。

B.有關衍生性金融商品之交易性質及合約資訊說明如下：

	106年9月30日	
衍生金融商品	合約金額（名目本金）	契約期間
遠期外匯合約-預購美元	USD 2,700仟元	106.8.18~106.12.21

(A)本集團簽訂遠期外匯交易係為規避進口及外銷價款與外幣部位之匯率風險，惟未適用避險會計。

(B)本集團民國106年7月1日至9月30日及106年1月1日至9月30日因上述衍生性商品之交易認列淨損失分別為($227)及($199)。

C.本集團未有將透過損益按公允價值衡量之金融資產提供質押之情形。

(2)備供出售金融資產

項目	106年12月31日	106年9月30日
非流動項目：		
上市櫃公司股票	$ 239,542	$ 239,542
評價調整	8,216	11,692
小計	247,758	251,234
累計減損	(229,024)	(229,024)
合計	$ 18,734	$ 22,210

A.本集團於民國106年7月1日至9月30日及106年1月1日至9月30日度因公允價值變動認列於其他綜合損益之金額分別為$501及($6,941)，自權益重分類至當期損益之金額皆為$0。

B.本集團未有提供質押之情形。

(3)以成本衡量之金融資產

項目	106年12月31日	106年9月30日
流動項目：		
非上市櫃公司股票	$ 295,819	$ -
非流動項目：		
非上市櫃公司股票	$ 174,802	$ 144,985
國外基金	-	30,260
小計	174,802	175,245
累計減損	(107,280)	(96,934)
合計	$ 67,522	$ 78,311

A.本集團持有之上述標的，投資依據投資之意圖應分類備公出售金融資產，惟因該標的非於活絡市場公開交易，且無法取得足夠之類似公司之產業資訊及備投資公司之相關財務資訊，因此無法合理可靠衡量該些標的之公允價值，因此分類為「以成本衡量之金融資產」。

B.上述投資標的因經營虧損於民國106年7月1日至9月30日及106年1月1日至9月30日分別認列減損損失計$0及$306，帳列綜合損益表之「其他利益及損失」項下，累計減損變動如下表：

	106年
1月1日	$ 96,628
本期提列	306
9月30日	$ 96,934

C.本集團以成本衡量之金融資產未有提供質押之情況。

4.民國106年12月31日及其第三季之信用風險資訊說明如下：

(1)信用風險係本集團因客戶或金融工具之交易對手無法履行合約義

務而產生財務損失之風險。本集團依內部明定之授信政策，集團內各營運個體於訂定付款及提出交貨之條款與條件前，須就其每一新客戶進行管理及信用風險分析。內部風險控管係透過考慮其財務狀況、過往經驗及其他因素，以評估客戶之信用品質。主要信用風險來自約當現金，及存放於銀行與金融機構之存款，及包括尚未收現之應收帳款。

(2)本集團並無超出信用限額之情事，且管理階層不預期會受交易對手之不履約而產生任何重大損失。

(3)本集團未逾期且未減損之應收帳款、應收票據及其他應收款，經評估其信用品質並未發生重大改變且相關帳款可回收性亦無重大疑慮，信用品質尚屬良好。

(4)本集團已逾期但未減損之金融資產之帳齡分析如下：

	106年12月31日	106年9月30日
30天內	$ 32,461	$ 43,881
30~90天	9,077	38,197
91~180天	808	30,092
180天以上	765	5,855
	$ 43,111	$ 118,025

(5)本集團截至民國 106 年 1 月 1 日至 9 月 30 日止，已逾期之應收帳款，提列減損金額之變動分析如下表：

	106年		
	個別評估之減損損失	群組評估之減損損失	合計
1月1日	$ 4,685	$ 31,599	$ 36,284
(迴轉)提列減損損失	(2,046)	2,535	489
9月30日	$ 2,639	$ 34,134	$ 36,773

(五)初次適用國際財務報導準則第 15 號之影響及民國 106 年度適用國際會計準則 11 號與國際會計準則 18 號之資訊

1.民國 106 年度及其第三季所採用之收入認列重大會計政策說明如下：

(1)銷貨收入

本集團主要為電子零件、液晶顯示器、半導體及發電機等之買賣。收入係正常營業活動中對集團外顧客銷售商品已收或應收對價之公允價值，以扣除營業稅、銷貨退回、數量折扣及折讓之淨額表達。商品銷售於商品交付予買方、銷貨金額能可靠衡量且未來經濟效益很有可能流入企業時認列收入。當與所有權相關之重大風險與報酬已移轉予顧客，本集團對商品既不持續參與管理亦未維持有效控制且顧客根據銷售合約接受商品，或有客觀證據顯示所有接受條款均

已符合時，商品交付方屬發生。

(2)勞務收入

本集團提供發電機保養維護之相關服務。提供勞務之交易結果能可靠估計時認列收入，當交易結果無法可靠估計時，於已認列成本很有可能回收之範圍內認列收入。

2.本集團於106年度第三季適用前述會計政策所認列之收入如下:

	106年7月1日至9月30日	106年1月1日至9月30日
銷貨收入	$ 967,154	$ 3,004,039
勞務收入	1,035	8,413
	$ 968,189	$ 3,012,452

3.本集團若於 107 年第三季繼續適用上述會計政策，對本期資產負債表及綜合損益表單行項目之影響數及說明如下:

資產負債表項目	107年9月30日		
	採IFRS 15認列之餘額	採原會計政策認列之餘額	會計政策改變之影響數
合約負債	$ 212,239	$ -	$ 212,239
預收貨款	-	212,239	(212,239)

對本期綜合損益並無影響。

說明：本公司依據 IFRS 15 之規定，認列與合約相關之合約負債，故將過去報導期間預收貨款金額重分類調整。

十三、附註揭露事項

(一)重大交易事項相關資訊

1.資金貸與他人：請詳附表一。

2.為他人背書保證：請詳附表二。

3.期末持有有價證券情形（不包含投資子公司、關聯企業及合資控制部分）：請詳附表三。

4.累積買進或賣出同一有價證券之金額達新台幣三億元或實收資本額百分之二十以上：無。

5.取得不動產之金額達新台幣三億元或實收資本額百分之二十以上：無。

6.處分不動產之金額達新台幣三億元或實收資本額百分之二十以上：無。

7.與關係人進、銷貨之金額達新台幣一億元或實收資本額百分之二十以上：請詳附表四。

8.應收關係人款項達新台幣一億元或實收資本額百分之二十以上：請詳

附表五。

9.從事衍生工具交易：請詳附註六(二)。

10.母公司與子公司及各子公司間之業務關係及重要交易往來情形及金額：請詳附表六。

(二)轉投資事業相關資訊

被投資公司名稱、所在地區等相關資訊(不包含大陸被投資公司)：請詳附表七。

(三)大陸投資資訊

1.基本資料：請詳附表八。

2.直接或間接經由第三地區事業與轉投資大陸之被投資公司所發生之重大事項：請詳附註十三(一)、(二)之說明。

(以下空白)

十四、營運部門資訊

(一)一般性資訊

1.本集團管理階層已依據營運決策者於制定決策所使用之報導資訊辨認應報導部門。

2.本集團營運決策者以產品別之角度經營管理。

(二)部門資訊之衡量

本集團營運決策者係依根據營運部門損益評估營運部門的表現，部門損益係指各營運部門所賺取之利益，以提供予主要營運決策者，用以分配資源予部門及評估績效。

(三)部門損益、資產與負債之資訊

提供予主要營運決策者之民國107年1月1日至9月30日應報導部門資訊如下：

	電子通路業	光電製造業	機電事業群	智動化事業群	其　　他	調整及沖銷	合　　併
外部收入	$ 523,168	$ 944,341	$ 621,548	$ 919,438	$ 54,526	$ -	$ 3,063,021
內部部門收入	-	57,191	101,861	-	5,690	(164,742)	-
部門收入	$ 523,168	$ 1,001,532	$ 723,409	$ 919,438	$ 60,216	($ 164,742)	$ 3,063,021
部門稅後(損)益	$ 30,905	$ 154,271	($ 10,647)	$ 6,185	$ 167,977	($ 159,094)	$ 189,597
折舊及攤銷	$ 261	$ 8,434	$ 1,392	$ 3,693	$ 12,582	$ -	$ 26,362
採權益法之投資損失	$ -	$ -	$ -	$ -	($ 754)	$ -	($ 754)
部門資產	$ 907,115	$ 2,436,073	$ 1,600,265	$ 1,134,875	$ 2,834,435	($ 3,026,890)	$ 5,885,873

提供予主要營運決策者之民國106年1月1日至9月30日應報導部門資訊如下：

	電子通路業	光電製造業	機電事業群	智動化事業群	其　　他	調整及沖銷	合　　併
外部收入	$ 655,961	$ 957,137	$ 745,256	$ 586,090	$ 68,008	$ -	$ 3,012,452
內部部門收入	-	50,599	171,336	22,260	4,568	(248,763)	-
部門收入	$ 655,961	$ 1,007,736	$ 916,592	$ 608,350	$ 72,576	($ 248,763)	$ 3,012,452
部門稅後(損)益	$ 46,393	$ 46,713	$ 40,347	($ 34,795)	$ 30,875	($ 41,705)	$ 87,828
折舊及攤銷	$ 261	$ 9,621	$ 1,019	$ 2,262	$ 12,653	$ -	$ 25,816
採權益法之投資利益	$ -	$ -	$ -	$ -	($ 681)	$ -	($ 681)
部門資產	$ 899,898	$ 2,401,750	$ 1,697,369	$ 1,153,058	$ 2,452,768	($ 2,894,513)	$ 5,710,330

(四)部門損益之調節資訊

1. 向主要營運決策者呈報之外部收入與損益表內之收入採用一致之衡量方式。
2. 應報導部門係以稅後損益評估營運部門的表現，其損益合計數與企業繼續營運單位稅後損益金額相符，故無需調節。
3. 提供主要營運決策者之總資產金額，與財務報表內之資產採一致之衡量方式，本期應報導部門資產之調節及沖銷情形，請詳附註十四(三)之說明。

所羅門股份有限公司及子公司

資金貸與他人

民國107年1月1日至9月30日

附表一

單位：新台幣仟元

(除特別註明者外)

編號（註1）	貸出資金之公司	貸與對象	往來項目（註2）	是否為關係人	本期最高金額	期末餘額	實際動支金額	利率區間	資金貸與性質（註6）	業務往來金額（註5）	有短期融通資金必要之原因	提列備抵呆帳金額	擔保品 名稱	擔保品 價值	對個別對象資金貸與限額（註3）	資金貸與總限額（註4）	備註
0	所羅門	三門科技	其他應收款	Y	1,500	-	-	2.5%	2	-	營運週轉	-	-	-	1,724,039	3,448,078	註3
0	所羅門	鈺門國際	其他應收款	Y	183,630	-	-	2.616%	2	-	營運週轉	-	-	-	1,724,039	3,448,078	註3
0	所羅門	鈺門國際	其他應收款	Y	92,145	30,525	30,525	2.616%	2	-	營業週轉	-	-	-	1,724,039	3,448,078	註3
0	所羅門	鈺門國際	其他應收款	Y	189,475	141,591	141,591	-	1	284,496	業務往來	-	-	-	284,496	3,448,078	註5

註1：編號欄之說明如下：

(1)發行人填 0。

(2)被投資公司按公司別由阿拉伯數字1開始依序編號。

註2：依證基會(93)基秘字第167號函之規定，期末將超過正常授信期限一定期間之應收帳款餘額計$141,591，予以轉列其他應收款，並於資金貸與他人資訊中揭露。

註3：依本公司資金貸放程序，對單一企業貸放金額屬短期融通資金之必要者，以不超過公司淨值之40%為限，有業務往來之公司以雙方進貨或銷貨金額孰高者為限，惟子公司對單一企業貸放金額及總金額屬短期融通資金之必要者，以不超過公司淨額之40%為限(惟東莞富相之總金額以80%為限)。

註4：係依本公司資金貸放程序，本公司貸放總金額以不超過公司淨值之80%為限。

註5: 同註2所述，有業務往來以雙方進貨或銷貨金額孰高者為限，故董事會核定額度以$284,496為限，而截至民國107年9月30日止，期末餘額為$141,591。

註6:資金貸與性質說明如下:

(1)有業務往來者: 1。

(2)有短期融通資金之必要者: 2。

所羅門股份有限公司及子公司

為他人背書保證

民國107年1月1日至9月30日

附表二

單位：新台幣仟元

(除特別註明者外)

編號（註1）	背書保證者公司名稱	被背書保證對象 公司名稱	被背書保證對象 關係（註2）	對單一企業背書保證限額（註3）	本期最高背書保證餘額	期末背書保證餘額	實際動支金額	以財產擔保之背書保證金額	累計背書保證金額佔最近期財務報表淨值之比率	背書保證最高限額（註3）	屬母公司對子公司背書保證	屬子公司對母公司背書保證	屬對大陸地區背書保證	備註
1	Solomon Cayman	鈺門國際	2	$ 168,350	$ 44,217	$ 41,920	$ -	$ 6,105	12.45	$ 168,350	Y	N	Y	

註1：編號欄之說明如下：

(1)發行人填 0。

(2)被投資公司按公司別由阿拉伯數字1開始依序編號。

註2：背書保證者與背書保證對象之關係有下列六種，標示種類即可：

(1)有業務關係之公司。

(2)直接持有普通股股權超過百分之五十之子公司。

(3)母公司與子公司持有普通股股權合併計算超過百分之五十之被投資公司。

(4)對於直接或經由子公司間接持有普通股股全超過百分之五十之母公司。

(5)基於承攬工程需要之同業間依合約規定互保之公司。

(6)因共同投資關係由各出資股東依其持股比例對其背書保證之公司。

註3：依背書保證實施辦法規定，對同一公司背書保證額度以不超過提供保證公司淨值之50%為限。

所羅門股份有限公司及子公司

期末持有有價證券情形（不包含投資子公司、關聯企業及合資控制部分）

民國107年9月30日

附表三

單位：新台幣仟元

（除特別註明者外）

持有之公司	有價證券種類及名稱	與有價證券發行人之關係	帳列科目	期末 股數	期末 帳面金額	期末 持股比例	期末 公允價值	備註
所羅門	光寶科技	-	透過損益按公允價值衡量之金融資產－流動	625,000	24,000	2.66	24,000	註1
	重鵬	-	透過損益按公允價值衡量之金融資產－非流動	156,957	7,220	0.22	7,220	〃
	廣越企業	-	透過損益按公允價值衡量之金融資產－非流動	50,000	6,875	0.05	6,875	註4
	晨豐	-	透過損益按公允價值衡量之金融資產－非流動	1,500,000	8,790	3.34	8,790	註1、2
	總格實業	-	透過損益按公允價值衡量之金融資產－非流動	852	-	0.01	-	〃
	台霖生物科技	-	透過損益按公允價值衡量之金融資產－非流動	321,538	-	0.90	-	〃
	宏發半導體	-	透過損益按公允價值衡量之金融資產－非流動	267,666	-	4.31	-	〃
	華成創業投資		透過損益按公允價值衡量之金融資產－非流動	437,356	-	1.00	-	〃
摩迪投資	所羅門	本公司之母公司	透過損益按公允價值衡量之金融資產－流動	100,432	2,149	0.05	2,149	註1
	華豐橡膠工業	-	透過損益按公允價值衡量之金融資產－流動	1,548,461	21,911	0.47	21,911	〃
	鼎創達	-	透過損益按公允價值衡量之金融資產－流動	850,000	3,426	0.46	3,426	〃
	展旺生命科技	-	透過損益按公允價值衡量之金融資產－流動	298,858	5,633	0.12	5,633	〃
	重鵬	-	透過損益按公允價值衡量之金融資產－非流動	35,909	1,652	0.10	1,652	〃
	聯合聚晶	-	透過損益按公允價值衡量之金融資產－非流動	2,030,212	12,628	6.80	12,628	註1、2
	亞比斯包材工廠	-	透過損益按公允價值衡量之金融資產－非流動	900,000	9,000	3.60	9,000	〃
	典石科技	-	透過損益按公允價值衡量之金融資產－非流動	200,000	-	2.22	-	〃
	同昱能源等	-	透過損益按公允價值衡量之金融資產－非流動	57,141	-	0.15	-	〃
Solomon Cayman	Capital Investment Development Corp	-	透過損益按公允價值衡量之金融資產－非流動	800,000	24,420	0.71	24,420	註1、2
	寶發科技	-	透過損益按公允價值衡量之金融資產－非流動	190,000	-	18.98	-	〃
	UKNOWIKNOW HOLDINGS INC.	-	透過損益按公允價值衡量之金融資產－非流動	150,000	-	5.22	-	〃
Sincre Reach Co.,Ltd	August Gold Limited	-	透過損益按公允價值衡量之金融資產－流動	257	79,635	2.59	79,635	註3
Shining Silver Co.,Ltd	August Gold Limited	-	透過損益按公允價值衡量之金融資產－流動	737	228,369	7.41	228,369	〃
達威光電	連碩光電	-	透過損益按公允價值衡量之金融資產－非流動	410,000	1,640	5.91	1,640	註1、2
	訊康自動化	-	透過損益按公允價值衡量之金融資產－非流動	80,000	1,271	5.71	1,271	〃
富相科技	光寶科技	-	透過損益按公允價值衡量之金融資產－流動	35,000	1,344	0.15	1,344	註1
	訊智自動化	-	透過損益按公允價值衡量之金融資產－非流動	250,000	2,595	8.33	2,595	註1、2
三門科技	華南永昌麒麟貨幣市場基金	-	透過損益按公允價值衡量之金融資產－流動	335,258	4,000	-	4,000	註1

註1：未質押。

註2：非上市櫃公司因無公開市價，故以帳面金額表示。

註3：本期所持有之August Gold Limited股權，請詳合併財務報告附註六(二)之說明。

註4：公司於105年10月3日以公開申購承銷價格每股新台幣156元，申購50,000股

所羅門股份有限公司及子公司

與關係人進、銷貨之金額達新台幣一億元或實收資本額百分之二十以上

民國107年1月1日至9月30日

附表四

單位：新台幣仟元

（除特別註明者外）

進（銷）貨之公司	交易對象名稱	關係	交易情形				交易條件與一般交易不同之情形及原因		應收（付）票據、帳款		備註
			進（銷）貨	金額	佔總進（銷）貨之比率	授信期間	單價	授信期間	餘額	佔總應收（付）票據、帳款之比率	
所羅門	鈺門國際	母子公司	（銷貨）	（$ 101,673）	（ 4）	註1	雙方協議	註2	$ 78,931	19	
鈺門國際	所羅門	母子公司	進貨	101,673	16	註1	雙方協議	註2	（ 78,931）	（ 42）	
富相科技	東莞富相	母子公司	註4	（ 223,407）	-	註4	註4	註4	-	-	
富相科技	東莞富相	母子公司	進貨	502,994	40	註3	雙方協議	註3	（ 154,768）	（ 90）	
東莞富相	富相科技	母子公司	註4	223,407	-	註4	註4	註4	-	-	
東莞富相	富相科技	母子公司	（銷貨）	（ 502,994）	62	註3	雙方協議	註3	154,768	93	

註1：係以應收帳款互抵後之帳款，依鈺門國際之資金狀況收款。
註2：一般客戶授信期間為90~120天。
註3：係雙方議定價格，付款則與應收代採購對沖後，視資金情況支付，一般供應商之付款條件約60～90天。
註4：係代採購交易，每月與應付帳款對沖後，視資金情況收付。

所羅門股份有限公司及子公司

應收關係人款項達新台幣一億元或實收資本額百分之二十以上

民國107年9月30日

附表五

單位：新台幣仟元

（除特別註明者外）

帳列應收款項之公司	交易對象名稱	關係	應收關係人款項餘額	週轉率	逾期應收關係人款項		應收關係人款項期後收回金額	提列備抵呆帳金額
					金額	處理方式		
所羅門	鈺門國際	母子公司	$ 266,968	0.51	$ 141,591	積極催收	$ 1,508	$ -
東莞富相	富相科技	母子公司	154,768	4.33	-	積極催收	-	-

所羅門股份有限公司及子公司

母公司與子公司及各子公司間之業務關係及重要交易往來情形及金額

民國107年1月1日至9月30日

附表六

單位：新台幣仟元

(除特別註明者外)

民國106年度之重要交易往來情形如下：

編號 (註11)	交易人名稱	交易往來對象	與交易人之關係 (註10)	交易往來情形 科目	金額	交易條件	佔合併總營收或總資產之比率 (註12)
0	所羅門	鈺門國際	1	銷貨	$ 101,673	註2	3%
0	所羅門	鈺門國際	1	進貨	188	註2	-
0	所羅門	鈺門國際	1	應收帳款	78,931	註2	1%
0	所羅門	鈺門國際	1	其他應收款	188,037	註1、6	3%
0	所羅門	富相科技	1	銷貨	43,849	註3	1%
0	所羅門	富相科技	1	進貨	5	註4	-
0	所羅門	富相科技	1	其他應收款	1,051	註6	-
0	所羅門	富相科技	1	租金收入	6,520	註5	-
0	所羅門	富相科技	1	管理費收入	9,000	註7	-
0	所羅門	所羅門深圳	1	銷貨	1,446	註4	-
0	所羅門	所羅門深圳	1	勞務費用	4,464	註4	-
0	所羅門	達威光電	1	其他應收款	368	註6	-
0	所羅門	達威光電	1	租金收入	342	註5	-
0	所羅門	達威光電	1	管理費收入	1,575	註7	-
0	所羅門	達威光電	1	租金費用	720	註5	-
1	富相科技	東莞富相	1	進貨	502,994	註3	16%
1	富相科技	東莞富相	1	應付帳款	154,768	註2	3%
1	富相科技	香港富相	1	管理費用	1,059	註3	-
1	富相科技	所羅門	2	其他應付款	1,051	註1	-
1	富相科技	所羅門	2	租金費用	6,520	註5	-
1	富相科技	所羅門	2	管理費	9,000	註7	-
1	富相科技	所羅門	1	銷貨	5	註4	-
1	富相科技	所羅門	1	進貨	43,849	註3	1%
1	富相科技	達威光電	3	銷貨	13,337	註8	-
1	富相科技	達威光電	3	應收帳款	3,339	註8	-
2	Goldentek(B.V.I.)	東莞富相	1	應付帳款	123,709	註3	2%
3	鈺門國際	所羅門	2	銷貨	188	註2	-
3	鈺門國際	所羅門	2	進貨	101,673	註2	3%
3	鈺門國際	所羅門	2	應付帳款	78,931	註2	1%
3	鈺門國際	所羅門	2	其他應付款	188,037	註7	3%

編號（註11）	交易人名稱	交易往來對象	與交易人之關係（註10）	交易往來情形 科目	金額	交易條件	佔合併總營收或總資產之比率（註12）
4	東莞富相	富相科技	2	銷貨	502,994	註3	16%
4	東莞富相	富相科技	2	應收帳款	154,768	註3	3%
4	東莞富相	Goldentek(B.V.I.)	2	應收帳款	123,709	註3	2%
5	香港富相	富相科技	2	其他收入	1,059	註3	-
6	所羅門深圳	所羅門	2	進貨	1,446	註4	-
6	所羅門深圳	所羅門	2	勞務收入	4,464	註4	-
7	達威光電	所羅門	2	其他應付款	368	註6	-
7	達威光電	所羅門	2	租金收入	720	註5	-
7	達威光電	所羅門	2	租金費用	342	註5	-
7	達威光電	所羅門	2	管理費	1,575	註7	-
7	達威光電	富相科技	3	進貨	13,337	註8	-
7	達威光電	富相科技	3	應付帳款	3,339	註8	-
7	達威光電	業生科技	2	其他應收款	357	註6	-
7	達威光電	業生科技	2	租金收入	360	註5	-
8	業生科技	達威光電	2	其他應付款	357	註6	-
8	業生科技	達威光電	2	租金支出	360	註5	-

註1：依雙方約定價格付款，條件視資金需求斟酌調整。
註2：應收應付款項互抵後，視資金狀況收款，一般客戶約為90天～120天。
註3：應收付款項互抵後，付款條件為90天～180天。
註4：與一般交易條件相當，一般客戶為90天～120天。
註5：依一般市場價格承出租。
註6：依約定時間收付款。
註7：係依一定價款，月結60天。
註8：與一般條件約當，一般客戶為60~90天。
註9：母公司及子公司相互間之業務往來資訊應分別於編號欄註明，編號之填寫方法如下：
(1)母公司填0。
(2)子公司依公司別由阿拉伯數字1開始依序編號。
註10：與交易人之關係有以下三種，標示種類即可(若係母子公司間或各子公司間之同一筆交易，則無須重複揭露。如：母公司對子公司之交易，若母公司已揭露，則子公司部分無須重複揭露； 子公司對子公司之交易， 若其一子公司已揭露， 則另一 子公司無須重複揭露)：
(1)母公司對子公司。
(2)子公司對母公司。
(3)子公司對子公司。
註11：交易往來金額佔合併總營收或總資產比率之計算，若屬資產負債科目者，以期末餘額佔合併總資產之方式計算；若屬損益科目者，以累積金額佔合併總營收之方式計算。

所羅門股份有限公司及子公司

被投資公司名稱、所在地區等相關資訊（不包含大陸被投資公司）

民國107年1月1日至9月30日

附表七

單位：新台幣仟元

（除特別註明者外）

投資公司名稱	被投資公司名稱	所在地區	主要營業項目	原始投資金額		期末持有			被投資公司本期損益	本期認列之投資損益	備註
				本期期末	去年年底	股數	比率	帳面金額			
所羅門	Solomon Cayman	開曼群島	控股公司	$ 517,676	$ 517,676	15,080,785	100.00	$ 336,700	$ 3	$ 3	子公司
所羅門	三門科技	台灣	IC CARD	131,000	131,000	13,100,000	100.00	317,274	17,039	17,039	〃
所羅門	富相科技	台灣	液晶顯示器製造	1,359,694	1,285,227	42,030,186	70.77	1,031,027	135,266	86,930	〃
所羅門	摩迪投資	台灣	專業投資	457,384	457,384	28,460,900	100.00	334,763	15,827	16,003	〃
所羅門	興門科技	台灣	通訊產品	599,665	599,665	96,407	96.41	16	-	-	〃
所羅門	達威光電	台灣	液晶面板製造	53,987	53,987	6,031,676	29.16	102,084	15,229	4,441	〃
所羅門	Total Profit	薩摩亞	控股公司	13,859	13,859	3,088,700	100.00	10,599	(298)	(298)	〃
所羅門	吉帝能源設備	台灣	發電機安裝及銷售	400	400	40,000	100.00	387	(10)	(10)	〃
所羅門	業生科技	台灣	機器設備及電子零組件製造	45,000	-	4,500,000	100.00	45,252	252	252	〃
所羅門	Solomon Science Technology(VN) Company Limited	越南	電力能源相關產品進出口	15,288	-	-	100.00	13,402	(379)	(379)	〃
所羅門	Solomon Robotics(THAI) Ltd.	泰國	電力能源相關產品進出口	1,849	-	200,000	100.00	1,898	-	-	〃
摩迪投資	達威光電	台灣	液晶面板製造	31,350	31,548	3,159,740	100.00	-	15,229	-	〃
摩迪投資	富相科技	台灣	液晶顯示器製造	62,233	62,233	5,500,000	100.00	(5,500)	135,266	-	〃
摩迪投資	銀嘉科技	台灣	電腦設備安裝及電子材料零售及批發	24,700	24,700	1,330,184	100.00	-	(2,116)	-	註
摩迪投資	Green Forest Ltd.	塞席爾	投資公司	66,079	66,079	1,980,000	100.00	-	3,335	-	子公司
三門科技	達威光電	台灣	液晶面板製造	38,418	38,418	4,368,117	21.11	67,510	15,229	-	〃
三門科技	富相科技	台灣	液晶顯示器製造	62,233	62,233	5,500,000	9.26	144,387	135,266	-	〃
三門科技	Green Forest Co., Ltd.	塞席爾	投資公司	96,836	96,836	3,000,000	40.70	94,350	3,335	-	〃
Solomon Cayman	Solomon Electronics	韓國	半導體零組件	5,904	5,904	17,202	27.52	-	-	-	註
Solomon Cayman	Solomon Group	美國	控股公司	3,183	3,183	150,000	100.00	-	-	-	孫公司
Solomon Cayman	Solomon Technology Group (Singapore) Pte.Ltd.	新加坡	元件通路代理	2,195	2,195	-	100.00	-	-	-	〃
Solomon Cayman	Soundtek Ltd.	塞席爾	專業投資	23,764	23,764	-	30.00	-	-	-	註
Solomon Cayman	Goldentek (B.V.I.)	英屬維京群島	銷售液晶顯示器及模組	2,175	2,175	104,496	0.44	3,365	35,087	-	孫公司
Solomon Cayman	GD Power Ltd.	塞席爾	控股公司	25,586	25,586	-	100.00	20,245	43	-	〃
Solomon Cayman	Solomon (BRUNEI) Ltd.	汶萊	控股公司	-	5,728	-	100.00	-	(1,519)	-	〃
Solomon Cayman	Brigh True Co., Ltd.	塞席爾	投資公司	46,354	46,354	1,440,000	55.99	45,578	2,799	-	〃
Solomon (BRUNEI) Ltd.	Solomon Vietnam	越南	發電機安裝及銷售	-	5,424	-	80.00	-	(1,716)	-	〃
富相科技	Goldentek (B.V.I.)	英屬維京群島	銷售液晶顯示器及模組	770,653	770,653	23,698,904	99.56	712,047	35,087	-	〃
富相科技	Futek Trading	英屬維京群島	轉口貿易	14,406	14,406	1,050,000	100.00	8,765	94	-	〃
富相科技	Green Forest Ltd.	塞席爾	投資公司	69,866	69,866	2,392,000	32.45	74,172	3,335	-	〃
Futek Trading	香港富相	香港	轉口貿易	2,175	2,175	500,000	100.00	8,765	94	-	〃
富相電子科技(東莞)	富頂國際	香港	生產銷售液晶顯示器及模組及轉投資業務	162,125	162,125	5,050,000	100.00	157,198	2,319	-	〃
富頂國際	Brigh True Co., Ltd.	塞席爾	投資公司	36,484	36,484	1,132,000	44.01	35,236	2,799	-	〃
Brigh True Co., Ltd.	Sincere Reach Co., Ltd.	塞席爾	投資公司	82,915	82,915	2,571,000	100.00	74,796	1,290	-	〃
Green Forest Co., Ltd.	Shining Silver Co., Ltd.	塞席爾	投資公司	237,715	237,715	7,371,000	100.00	214,504	3,724	-	〃

註：採權益法評價之轉投資公司。

所羅門股份有限公司及子公司

大陸投資資訊－基本資料

民國107年1月1日至9月30日

附表八

單位：新台幣仟元

(除特別註明者外)

大陸被投資公司名稱	主要營業項目	實收資本額	投資方式（註1）	本期期初自台灣匯出累積投資金額	本期匯出或收回投資金額 匯出	本期匯出或收回投資金額 收回	本期期末自台灣匯出累積投資金額	被投資公司本期損益	本公司直接或間接投資之持股比例	本期認列投資損益（註二）	期末投資帳面金額	截至本期止已匯回投資收益	備註
東莞富相	生產銷售新型液晶顯示器及模組	$ 614,017	1	$ 532,867	$	$ -	$ 532,867	$ 35,283	81.20	$ 35,283	$ 939,428	$ -	
所羅門深圳	國際貿易	11,703	1	11,703	-	-	11,703	(298)	100.00	(298)	10,599	-	
鈺門國際	國際貿易	207,570	1	67,155	-	-	67,155	(1,214)	100.00	(1,214)	219,287	-	
珠海萬佳	磁性材料製造及銷售	61,050	1	4,579	-	-	4,579	-	7.65	-	-	-	
天韻科技(蘇州)	麥克風、LCD Cable	9,158	2	-	-	-	-	-	30.00	-	-	-	註2
吉帝能源設備(成都)	發電機安裝及銷售	22,180	1	22,180	-	-	22,180	43	100.00	43	20,061	-	

註1：投資方式區分為下面兩種，標示種類別即可：
(1)透過第三地區投資設立公司再投資大陸公司。
(2)透過轉投資第三地區現有公司再投資大陸公司。
(3)現有大陸投資設立公司再投資大陸公司。
註2：子公司Solomon Cayman以自有資金美金90仟元投資Soundtek Ltd.再投資大陸。
註3：除富相東莞係依同期經母公司會計師核閱之財務報告評價外，餘皆以同期自編未經會計師核閱之財務報告評價。
註4：本公司100%持有之子公司Solomon Cayman，於民國100年度及102年度分別以自有資金美金800仟元及美金3,000仟元增資鈺門國際。

公司名稱	本期期末累計自台灣匯出赴大陸地區投資金額	經濟部投審會核准投資金額	依經濟部投審會規定赴大陸地區投資限額
所羅門股份有限公司	$ 638,484	$ 921,122	$ 2,776,899

註一：東莞富相係由富相科技自行申報，所列數字已包含該公司之相關資訊。
註二：係由本公司股權淨值計算之限額，未包含富相科技。